

令和3年度使用教科用図書意見書一覧表

教育指導課

令和2年6月

令和3年度使用教科用図書意見書
藤沢市役所分庁舎会場

番号	【国語】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	国語3年生の教科書に文学作品(小説)が少ないと感じました。			○
2	取扱説明書等を読むことも大切ですが、心を養う文学を減らさないでください。日本文学を大切に、外国文学でも文学は生きるためにもとても大切なものです。			○
3	中学校での国語は文学のかおりがいっぱい今まで取り上げられてきた作品などが少なくなった気がします。			○
4	国語・・・どの教科書も割と昔からのいわゆる名作が載せられていてよかったですと思います。実用的な文章の読解というだけでなく、ともかく文学に触れることは大切です。			○

番号	【書写】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	書写(光村図書)普段目にする事の少ない書道用具の作り方等が掲載。簡単に手に入るのではないことを知り、そのすぐれた技術を学べ、毛筆学習に貴重と思う。			

令和3年度使用教科用図書意見書
藤沢市役所分庁舎会場

番号	【社会(地理的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	帝国書院が見やすかったです。			○
2	学習内容が多く、学習をするのが大変そうだと感じた。グローバルな視点をもって日本や諸外国と対話、交流を進めていけるような学習をしていけるとよいと思った。	○		

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	育鵬社の教科書(歴史)は、日露戦争の記述をみてあ然としました。「世界の海戦史に例をみない戦果を収め」など書かれていて、他社の記述(いろいろな世論があったこと、与謝野晶子の詩、重税に苦しむ人々のこと)のような多面的にとらえることができません。生徒にとってはふさわしくありません。育鵬社の戦争の記述はすべてそうでした。			○
2	育鵬社p227「社会運動の高まり」の中で、治安維持法が簡単にとりあげられているが、帝国書院は、p222～223の2頁にわたって多角的な視点から取りあげられており(社会運動の高まりと普通選挙の実現)、こちらの方がベター。バランス感覚に秀でている。※例記:社会主義が弾圧されていましたが、社会運動が高まると、再びさかんになり、1922年日本共産党がひそかに結成しました。			○
3	戦争の悲惨さや戦争のおびただしい特性、戦争に反対した人たちがいた事などをしっかりと書いてほしい。意図的に少なく書いてある教科書がある。もっと国民目線で書いてほしい。			○
4	育鵬社の歴史・公民の教科書記述が気に入りませんでした。太平洋戦争を「自存自衛」の戦争とし、「東南アジアやインドの人々は独立への希望を強くいただきました」と書いています。これでは子どもたちは、日本を守るためのアジアの人には希望さえ持った戦争ととらえるでしょう。聖戦そのものです。育鵬社教科書(歴史)は採択しないでください。			○
5	社会は今まで通り、育鵬で問題ないと思う。			○
6	歴史は正しく学んでほしいと思います。日本の歴史は、第2次世界大戦を経験し、おまけに原爆投下で今なお苦しんでいる人がいますので、中心は「平和」だと思います。私は日本の憲法を誇りにおもっていますので。	○		
7	育鵬社のものでなく、現場の先生の声などを主にして、教科書を決めてください。過去のできごとをしっかりと伝え、そのことをしっかりと考えられる教科書を子どもたちに提供してください。		○	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の意見を尊重してください。 ・展示会場は、気軽に行きやすい学校や公民館などもっとふやしてほしい。 ・育鵬社の教科書は選ばないでください。 理由 戦争を「勝利」「全滅」「戦果」「日本の勝利は自信や感動をもたらした」と書いていて、戦争の悲惨さ、犠牲、その中でも戦争に反対した人たちがいたことをきちんと書くべきです。日本国憲法をGHQに押し付けられた。→日本の民間団体の憲法案を参考にしてできたと他の教科書には書かれています。			○
9	帝国書院や東京書籍の教科書の平和教育、憲法について心に残りました。平和こそ、憲法こそ、大切に育てる子に育ててほしいと思いました。一方、育鵬社版は、「歴史は学ばなくても・・・」という人がかかわっていてあきれました。安倍首相のやりたいこと、憲法を変えることを全面的に受け入れたのが、育鵬社版で、これは現在、藤沢市が使用していますが、今回限りにしてほしいです。			○
10	学び舎の本で藤沢の子ども達に歴史を学ばせてあげたい。日露戦争が中国が戦場で避難民が9万人もいたこと、日本の民衆も100万人もこえ、戦死者が8万4000人にもものぼるなど。戦争による民の犠牲がかいてあり、子ども達に戦争の真実を伝えていて、この教科書で子ども達に学ばせたい。アンネの日記の文は、同じ世代の子ども達にも考えるきっかけになると思う。			○
11	育鵬社は止めてくださいね！			○
12	育鵬社の教科書・・・日露戦争など戦争の記録と背景について、戦争がられつてあって、その背景やその時の庶民のくらしが書いていない。 帝国書院・・・上に比べて、日露戦争に反対した日本人がいたことや死者が8万人も出たことなど、のせている。 学び舎・・・日露戦争も、民衆のくらし中心に歴史を描いている。与謝野晶子の詩を載せていて、感動。この教科書をよむと、歴史の全体像がみえてくるようです。			○
13	育鵬社 <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法制定の部分・・・憲法がGHQからの押し付けだと言い切っているのはおかしい。女性の参政権についてなど、触れられていないことも多く、バランスが悪い。 ・戦争についての記述が、一般的に「自衛のため」という書かれ方で、侵略について事実が書かれていない。歴史を学ぶのは、事実を学ぶ必要があると思う。事実をゆがめたものは使用しないでほしい。 		○	
14	<ul style="list-style-type: none"> ○育鵬社の教科書は、憲法の内容があまりにおそまつで、基本的人権など制限ばかりである。憲法制定も一面的で、子どもたちが自分も他人に大切にできるよう育ててほしいのに、人権の豊かな内容が書かれていない。歴史も公民も育鵬社は、採択しないでください。 ○先生方の調査書には、専門家としての思いと知見がこめられていると思う。教育委員の皆様はぜひとも先生方の声に耳を傾け、尊重して決めて下さい。 ○去年の採択審議委員会では、「使いづらさがあることは聞いている」という発言が、現場の先生から複数出ました。先生方の声に誠実に耳を傾け、決して教科書図書調査書を無視して、決めることのないよう、どうぞよろしく願います。 			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
15	今使っている教科書は嫌いです。他の教科書、できれば学び舎の教科書に変えて欲しいです。		○	
16	<歴史>育鵬社は、第二次大戦を大東亜戦争と書いたり、戦争が自衛のためなどとあたかも必要だったように記述するなど、他の教科書との違いが気になった。教育勅語は失効の記述のないのも気になった。東京書籍は、「みんなでチャレンジ」で日本が戦争に突入した背景を考えようなど、歴史から学び、次に生かす力を育てようとしているように思えた。又、西光万吉、平塚らいてうなどの写真も載せ、様々な考え方を示している。大切なことだと思う。帝国書院も東京書籍と同じようで、良いと思った。全体を較べきれないが、育鵬社の教科書で学ぶことに不安を感じた。			
17	歴史(育鵬社)日本が歴史に残した事実を無視した箇所が見られ、歴史を学んでいく初めての子供達に与える影響を考えると使わないに限る。			
18	各社ともにおもしろかった。学び舎のものが目につきました。各章ごとにふりかえりがあり、自分が使う教科書だったら楽しく勉強ができたように感じました。とにかく、子どもに教える先生たちのご意見をしっかり聞き届けてほしいと思います。			○
19	戦中田舎で一年生になった時、奉安殿の前では頭を下げること、教育勅語の時はグラグラしない、動くとき注意が飛びわけがわからず校庭に並んでいました。今の子どもたちは象徴天皇をどのように学んでいるのでしょうか。ほとんどの教科書は、「象徴としての天皇」とはっきり明記され、形式的・儀礼的な国事行為のみを行うと表記されているのに、育鵬社の教科書は、「日本の歴史・文化と天皇」「学習を深めよう」のコラムには天皇を精神的な支柱として国民が一致団結してなど日本国を代表している存在としてあつかわれています。なにか昔がえり的な強調のされ方が気になります。			○
20	育鵬社の「新しい日本の歴史」P247～249の太平洋戦争に関する部分を読んで、「非常に甘い」「これでは子や孫にあの惨禍の実情を背景を知らせることにならない」と感じました。 1. 戦争責任A級戦犯のうち処刑されたのは7人だけで、開戦時の商工大臣岸信介を戦後総理大臣にした日本は世界の笑ひ者にされた。 2. インパール作戦でニューギニア戦線やインパール作戦で何十万人が100万を超える日本兵が餓死し、人肉食が広範に行われた悲惨さが子や孫に伝わらない。			○
21	今の歴史教科書、ゲルマン民族大移動ないのね。			○
22	育鵬社「新しい日本の歴史」と他社の教科書を比較して読ませてもらいました。育鵬社の歴史に関する記述に偏りがあると感じました。中学生の子どもたちには、様々な考え方や視点を身につけてほしい。「こういう考え方もあるけど、他方ではこういう考え方もしているよ」と幅広く教えたいです。育鵬社以外の教科書を選んでいただけますようお願いいたします。			○
23	育鵬社で日露戦争の記述で「世界の海戦史に例を見ない戦果を収めた」、「欧米列強と並ぶ国になったという安心感と自信が生まれた」という点に違和感を持ちました。ほかの出版社はいろいろな考えを載せ(戦争賛成・反対)、与謝野晶子の詩も載せています。一面的に戦争のすばらしさを書いている育鵬社の教科書は採択しないでください。			○
24	帝国書院の日本国憲法の成立過程は、戦後の不戦の誓いから生まれた平和憲法のことがよくわかりました。他の教科書とは全く違う育鵬社の戦争賛美の内容は、恐ろしいと思いました。育鵬社の歴史は採択しないでください。			○
25	新聞で取り上げられていましたが、育鵬社の教科書は右寄りに誘導しようという意図が感じられました。2003年～2005年に帝国書院の教科書で学んでいた身としては、そちらに戻してほしいと思います。歴史は、事実の確認と多角的な視点での考えが大切だと思います。子どもたちの自由な発想が育つように、冷静な審査をしてほしいです。29歳男性、中学社会、高校地理歴史の教員免許を持っています。			○
26	学び舎のものはサイズが大きい。とても見やすくてよいと思った。発達に凸凹のある子にとって、ぎゅうぎゅう詰めの教科書よりも少しゆとりのあるものが見やすい。			○
27	育鵬社歴史の日本国憲法の成立過程を見ました。まるで今の日本国憲法がGHQに押しつけられて決められたかのような書き方はおかしいと思います。戦後のスタートは悲惨な戦争からです。日本の自由民権運動の流れを受け継いで、自由・平等・戦争放棄が生まれたことを、他の教科書はしっかり書いています。だから、大切な憲法だと思います。育鵬社の教科書は、憲法は押しつけられたから改憲という考えに執拗に誘導しています。このような押し付け、誘導の教科書は、「考え、議論する」教育にふさわしくありません。			○
28	歴史・公民の現在使われている育鵬社の教科書は問題が多いと思います。戦争の記述に被害面のみを載せて加害の歴史に触れないとか、日本国憲法の内容を丁寧に示さないなど偏っているように感じます。公民の教科書の自衛隊を憲法に明記するかどうかの新聞社の世論調査の出し方が、大多数の意見というような印象の写真だと思いました。その点、学び舎の教科書は素晴らしいと感じました。		○	○
29	育鵬社のは武士、土器が多い。教育出版がよい。戦争を大東亜戦争と呼んだり勝利したことを自慢している。			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
30	歴史教科書には歴史を正しく知り未来に向けて考え、世界の人々を平和的に地球の一員として暮らすようにすることが大事かと思えます。藤沢市において歴史を学ぶ教科書は育鵬社と聞いております。他会社と比較して読みますと戦争についての反省点が少ないように思われます。沖縄戦について軍とともに戦ったかのように教育されているように思います。戦争については繰り返してはいけないという反省の元に憲法9条に定められている戦争の放棄です。現役の教育される先生方意見を重視して教科書を選定することを切に願うものでございます。	○	○	
31	育鵬社の歴史教科書P245に沖縄戦についての記述は事実と違う集団自決に追い込んだのは日本軍だと思えます。取り上げるスペースが少なすぎる。帝国書院の歴史教科書、沖縄戦について見開きで事実を詳しく説明している。学び舎の歴史教科書、沖縄戦について真実がひしひしと伝わる。学び舎の教科書P240, 241原爆投下人間をかえせの見出しがとてもよい。アメリカが日本に何故原爆を投下したのかその理由も事実在即していると思う。	○	○	
32	偏りのある見解、感情的な表記は教科書としてふさわしくないと思えます。あくまで客観的な事実を述べる様々な角度からの見方があり、その中で生徒自らが話し合ったり考えられる内容であって欲しいし、そのような教科書が選ばれることを望みます。			○
33	歴史では「育鵬社」では主観的な学びとなりグローバルな視野をもつには弊害があると思えます。			○
34	正しい歴史や発展をありのままに伝えることが必要です。事実と違う記述や特別な考え方を押し付ける教科書はこのましくないと考えます。今、子ども達はあらゆるツールで情報を得ることができます。真実を受け止めあらゆることを学び、そこから考え、行動できるようにすることが大切です。そして何より学校現場の先生たちが使いやすい教える教科書が選ばれることを願っています。			○
35	歴史と公民の教科書について、育鵬社の教科書はやめてください。理由は戦争を肯定している表現が多く見受けられたからです。子供が洗脳されそうで怖いです。帝国書院か東京書籍にしてください。また、子どもたちのことを直接見ている中学校の現役の教師の方の意見を取り入れてください。よろしくお願いします。	○		
36	育鵬社の歴史教科書では、正しい歴史観を子供たちに伝えることができません。特に記載されている日本国憲法が押し付けられているかのような記載があやまりであることがこのところ放映されているNHKの報道番組でも明らかにされています。日本国憲法制定にあたり国会で充分議論された議事録が発見されていることを国家賠償請求権など日本で意見されたものが盛り込まれなどしています。また自由民権の運動もこの憲法の姿を練る前に下地となっていること、四日市訴訟の重要性について上皇后も言及されています。より上質な市民を育てるためにもこの育鵬社の教科書を使わないようにと思えます。	○	○	
37	育鵬社は絶対やめてもらいたい「歴史」について第2次世界大戦を大東亜戦争とって美化しているように思う。アジアの一国として近隣と理解できる(慰安婦問題)教科書採択を望む。			○
38	育鵬社の内容で戦争(特に明治以降)の記述は思い込み部分があり、藤沢のこれからの担う子どもたちにはふさわしくないと思えます。採択しないでください。			○
39	日本を賛美する記述が多い教科書(育鵬社)に違和感を感じる。	○	○	
40	育鵬社 右翼思想が歴然と見える。教育現場の教師の意見を大事にしてほしい。	○	○	
41	育鵬社 憲法についての記述が新日本の再生の基としたとしてはあまりにあっさり。現在も多くの議論と評価もしていない。少年法については改正(年齢引き下げに)に反対しています。少年の特性、十分に検討されているのでしょうか。山川 2つの憲法の対比により、生徒に考えさせる機会を与えている。弁護士としてはそう思います。			○
42	東京書籍、現代史部分の記述は体験者として納得させられることが多かった。学び舎 国際的な視点が広い点が良い。子供たちの自主的な活動を勧めている点も好ましいと思えました。			○
43	歴史・公民については変化が生じやすく4年に一度の改訂では追いつかないと思う。	○		
44	息子が中学生で社会の教科書(歴史)があんまりよくないといっている。よく聞くと、先生も教えづらいとよく言っているらしい。教科書が全てではないと思っていますが、1つの真実も書き方によっては伝わり方が全く違ってきてしまうと思います。部落差別のことなど日本もたくさん間違いをしてきました。子供たちにきちんと伝わる教科書を選んで欲しいです。教える先生たちの意見を取り入れて選んでほしいです。		○	
45	子どもから、先生が教えるににくいといつも言っていると聞き、他にどんな教科書があるのか見にきました。恥ずかしながら2種類くらいしかない中から選んでいると思っていました。今使っている出版社の歴史の教科書とは違う、先生が使いやすい教科書にかえていただきたいと思えます。こんなに種類がある中で、今の出版社の教科書を選んだ人は、誰の意見や考えを聞いたのか不思議です。	○		

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
46	現在使用されている育鵬社の教科書を読みました。例えば、歴史では「美談」が示され、国家のためにこう生きなければならぬと統治者(権力者)からの目線で生徒たちに「要求」している印象です。あくまで国家優先の意識が読み取れます。これからの時代を生きる子どもたちは、自らの考え、自ら選び、自ら行動する力を求められます。そうした力は現行の2冊の教科書では育てられません。ぜひ、現場の先生方が選んだ教科書で、先生方がすばらしい授業をしていただけるよう藤沢市民として期待しています。			○
47	会社によって内容が少し違うなあと感じました。教員が使いやすい教科書が子供達のためにもよいと思います。		○	
48	過去2回の教科書採択で、現場の先生たちの評価の低かった育鵬社の教科書が選ばれたことに保護者として納得がいかなかったので、今回の採択では特にこの2教科で注目しています。上の子が今年中学校を卒業しましたが、育鵬社はとても勉強しづらそうでした。書いてあることの意味をとりづらく、受験のときも、塾の先生から、君が使っている教科書わかりにくいから、こっち使うといいよと、別の教科書や参考書を貸してもらっていました。今、コロナのことがあり、子どもたちは、自学自習を余儀なくされていることがあります。生徒が一人で読んでも自分である程度理解できる教科書がいいと思います。これからは社会もよりいっそうグローバル化し、先の見えない社会で答えのない課題に取り組みながら生きていかなければなりません。日本のことだけでなく世界と協調しながらよりよい世界を作っていける力を子どもたちにはつけてほしいです。		○	
49	山川をみてみたが、今イチだった。参考書にとどめるべき。教科書と参考書はちがう。参考として学び舎の教科書がみれてよかった。こちらを採択してほしかった。二度と育鵬社の教科書を選んでほしくない。現場の先生の意見を一番重要なものとしてとりあげて考えてほしい。育鵬社の教科書は、学校の授業では使わず、先生独自のプリントを使用している。先生の準備の時間もとられ、ただでさえ忙しい先生の負担となり、時間のムダ。教科書も使わないなら、税金のムダ。		○	
50	全くニュートラルに書くことは難しいと思うが、極力主観のない事実をもとに作られてほしい。負の歴史は子どもに伝えないのではなく、きちんと伝えることが、将来のためだと思う。現場の先生方は今も苦勞して授業をしておられるようなので、是非先生方の望む教科書を採択してほしい。公民も同じに。			○
51	学校の現場で教えられている先生方が望んでいる教科書が選ばれていないときき、とても残念に思っています。ぜひ、先生方が一番良いと思われる教科書で子ども達が学べたらと切に願います。			○
52	前回の採択で、歴史・公民で先生方の声は無視されて育鵬社に決まったことを聞いて、どんな教科書なのか見に来ました。ちょっと見ただけでは理解できませんが、太平洋戦争のところに大東亜戦争と副題があったのはおどろきです。公民の平和主義のところに自衛隊のことが写真も含めたくさん記述されていました。ちょっと疑問を感じたところです。現場の先生方(日々子どもたちに接し教えている)の声が大事だと思います。採択にあたっては、ぜひ先生方の声を尊重してください。私は、育鵬社は子どもたちに与えたくありません。よろしくお願ひいたします。			○
53	育鵬社の歴史の教科書は、平和宣言都市、平和条例のある藤沢市にはふさわしくありません！！また、他の教科書には出ていない人物の名前や事項が多く、子供達は何が大切かわかりづらと思います。余計な部分に時間をとられてしまいそうです。大変勉強しにくい教科書だと思います。個人より、国家を重んじているように感じ、考える力を育てる事ができないと強く感じました。憲法の理解も、他社のものとは少々異なっていて偏っています。		○	
54	どうか、実際に教科書を使って授業をしている専門知識のある、現場の先生の意見を尊重してほしいです。先生方も使いづらい、生徒もわかりづらい、全国の先生方の評価があまりにも低い教科書を、なぜ使っているのか？不思議であり、大変残念に思います。教科書の内容もですが、選ぶ側ももっと真剣に、子供”個人”を大切に考えてください。考える力、平和の大切さを育てたい！！それには、育鵬社の教科書では、心配でたまりません。どうか、子供たちの学ぶ権利を守ってください。専門の現場の先生の声、子供たちと保護者の思い、全国の評価を見れば、育鵬社を使うべきではないことはすぐにわかってもらえるはずです。もうがっかりさせないで下さい。期待しています！！		○	
55	育鵬社の教科書はたとえば「帰化人」「大東亜戦争」などの言葉を使用している。歴史の教科書は歴史的な研究が進む中で使用される語句が変化してきているのに、何十年も前に使っていた語句をそのまま使用している。そこに教科書の編集者の意図が見える。ある一定の考え方に基ついて書かれている部分がたくさんある。特に、日露戦争や太平洋戦争など、日本の戦争を正当化するように読み取れる記述が多い。また、日本からの視点だけでなく、アジア諸国からの視点、一般庶民からの視点なども乏しいように感じる。教科書はできるだけ学問的に中立的にとらえているものを採用してほしい。			○
56	なぜ”大阪の歴史”をとりあげているのか？(巻頭)。日露戦争のところ、”果敢に戦った”という表現に違和感。大東亜戦争という表現のしかたが変なかんじ。他にたくさん、客観性のない表現が多いと思われます。(以上、育鵬社)		○	
57	天皇を賛美している表現の多い育鵬社は、子どもたちに偏った考えを与えそうで気になる。写真も他の教科書に比べると、庶民の姿が少ない気がする。			○
58	日露戦争。ここから日本は帝国主義国の仲間入りを。アジア諸国に対する優越感を持つようになる。戦争で国民は増税で苦しむ。植民地支配に苦しむアジアの人々。育鵬社はこういうところに目が向いていない。敗戦一日本国憲法制定。ここはとても重要な所だと思うが、育鵬社は他社と比べてページ数が少ない。育鵬社は新憲法をGHQの「押しつけ」であることを強調している。そうではない。			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
59	育鵬社の教科書は、「愛国心」や「大日本帝国憲法」ということばが出てきて、かつての軍国主義の日本に戻したいのかという印象を受けました。日本だけが、憲法を改正していなくて変だよという書き方をしていることも親として心配です。もっと、中立的に書かれている教育出版や帝国書院、東京書籍の教科書にして下さい。採択の時には現場にいる中学校の先生の意見を取り入れて下さいますようお願い致します。	○		
60	歴史は5点満点で、学び舎5、帝国4、教出・日文3、山川・東京が1、育鵬0です。育鵬社は「わが国」と記述するなど、客観的に歴史を見る姿勢がありません。絶対、こんな教科書やめて下さい。日本国憲法が「ほとんど未修正のまま採択」つて嘘です。	○		
61	日本が日露戦争で勝ったことが、アジアの人々の希望になったという表現は一方的すぎると思いました。(育鵬社)			○
62	日本の一方的な視点からだけでなく、広くアジア、世界の視点から歴史を見ることができる教科書にしてください。			○
63	学校教科書は授業の専門家である先生と、生徒の父兄たちの意見を最も重視して決めるべきである。歴史、公民とも生徒たちに学んでもらい、自分の考えを確立する一助にするための基本は、日本国憲法の国民主権、立憲主義、平和主義とすべきである。更に個人の尊重、男女平等、性的多様性の尊重等の大切さを十分理解して学ぶことが重要だ。以上の点について、育鵬社教科書は物足りない。受験にも不利な内容との評価も相当あるとのこと。今回は育鵬社の教科書はやめてほしい。			○
64	山川の教科書が見やすかったです。高校の世界史や日本史では山川を使う場合が多いと思いますが、そのときにもすんなりとなじめそうだなと思いました。東書も見やすかったです。ページの端にある、今どの時代かわかる帯がわかりやすかったです。			○
65	戦争に対する記述は、戦争の悲惨さ、大きな犠牲、戦争に反対した人々たちなど、帝国書院の教科書をお願いしたい。やはり現場の先生方の意見を聞くべきだと思います。			○
66	歴史公民に関しては、「学習課題」を載せ、子どもたちに考えさせようと工夫されている教育出版と文教出版、帝国書院、東京書籍がよかったです。とくに学習課題のそばにわかりやすく見方、考え方を載せて何を学ぶのかははっきりさせている文教出版はおもしろかったです。でも、教科書は先生が教え子どもたちが学ぶものですから、先生が希望した教科書が採択されることを心から望んでいます。			○
67	「わが国」ではじまる教科書は時代遅れではないでしょうか。世界はずっと影響しあっています。一国史で歴史を見ることは、国の優劣で見ることにつながりませんか。一生懸命働いた国が豊かで、怠けた国は貧しいと言えますか？南北アメリカやカリブ海の国々はヨーロッパに搾取され、黒人が連れてこられて(持ち込まれた)感染症で原住民は激減して今に続いています。日本国憲法の過程も世界の国があつてポツダム宣言があつてできたものです。歴史と向き合っただけでこれからどう生きるかを考えられる教科書を、生徒先生の主体性を大切にしてください。			○
68	憲法について大日本帝国憲法との比較の意図が不明確。大日本も悪くはないよ。今の憲法はわずか1週間でアメリカが作って厳しく迫ったという記述は現憲法が押しつけであると主張している。この姿勢がある教科書は本当の意味で民主的な国民を育てられるとは思えない(育鵬社)。帝国書院 明治以降の記述が豊かで沖縄の記述も好感が持てる。山川 資料の説明について、歩兵、かく乱戦力は言葉が足りない、わかりづらい。			○
69	コロナの関係もあり、各学校で見ることができなかったのは残念ですが、でもこうして公開の場が設定されたことはよかったです。歴史の育鵬社の教科書、日本が攻められたから攻めたんだ的に書かれています、それは違うでしょう。史実に沿ってないものを子どもたちに与えるのはおかしいと思います。			○
70	育鵬社の教科書は、日本の偉人の皆様が一人ひとり丁寧に紹介されており、いまこの日本があるのは立派に国のために務められた方々の歴史の上にあるのだとわかりやすく、子どもたちの精神衛生上にも良いと思う。			○
71	中学校の歴史教科書と公民教科書は前回と同様育鵬社の教科書を採用していただきたいと思います。東京裁判に関しての記述では、他社が戦争を一部の指導者が誘導したものとして一方的に責任を負わせたような記述なのに対して、育鵬社の教科書では東京裁判に関して、判決にあたって少数意見ではありながらその判決に疑問を投げかける意見も紹介され、東京裁判の様子が少しわかりました。領土問題においても、詳しくわかりやすい記述でした。歴史上に登場する偉人を尊敬する、また尊敬したくなる、そして日本を誇りに思える教科書の育鵬社を採択していただきたいと思います。			○
72	何かと話題になる育鵬社の教科書の実物も見たく、展示へ参りました。戦争放棄のポスターは私自身の中学時代の教科書でも見覚えがあります。それが育鵬社には無く、帝国書院やほかの教科書会社にも載っている。戦後の雰囲気と育鵬社の該当ページは印象がずいぶん違うなと感じました。	○		
73	教育出版、東京書籍、育鵬社の歴史の教科書の、太平洋戦争～日本国憲法制定の部分と、韓国併合～三一独立運動に関するところを読みました。日本国憲法制定について、東京書籍、教育出版は見開き2ページを使い、見出しは「民主化と日本国憲法」「平和国家を目指して一日本国憲法の公布と諸改革」です。育鵬社は半ページほどの記述で上記2社との違い(GHQの草案が土台になっているということは3社共通)、議会審議で「議員はGHQの意向に反対の声を上げることができずほとんど無修正のまま採択された」としています。また3つの基本原理や大日本帝国憲法との比較がありません。現憲法の価値が伝わらず押しつけられたものという印象になり、この点よくないと思います。			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
74	「日韓併合」についての記述の違いにおいて、育鵬社出版の中学歴史教科書だけは、「侵略」という言葉を使用していなかった。史事として、実際には、それまで清の国に属国化されていた韓国は、日清戦争の日本の勝利によって、繰り返し侵略されていた中国(清)から解放され、その後、日本によりインフラ整備(道路、艇集う、学校等)され、近代化されることとなります。また、その資金は日本国民の税金からも運用されたと知らされています。(参考文献「ひと目でわかる日の丸で歓迎されていた日本軍:PHP出版 水間政憲著参照。「侵略」という行為は、「搾取」する行為であり、「日韓併合」≠「侵略」には、誤認、無理があると言って過言ではありません。ご参考までに「日韓併合」に関しての記載箇所を教科書毎に抜粋させていただきたいと思ひます。東京書籍→日本は韓国を併合しました。武力で民衆の抵抗をおさえ、植民地支配を推し進めました。山川出版→ついに韓国を併合した。韓国は、朝鮮と改称され、日本の植民地となった。			○
75	(74の続き) 帝国書院→日本は韓国を併合し植民地としました。教育出版→これを韓国併合といいます。(中略)武力を背景に植民地支配を行いました。日本文教出版→日本1910年 軍隊の力を背景として韓国を併合して植民地としました。学び舎→1910年8月日本は韓国を朝鮮と改めて植民地とし・・・育鵬社→政府は韓国併合に踏み切り併合の一環として近代化が進められました。 「侵略」という言葉は十分気をつけたい言葉であり、子どもたちが誤解することのないような伝え方の教科書をぜひ採用、採択、検討していただきたいです。(史事に基づいて検証の上)			○
76	山川出版、学び舎がとても見やすく、わくわくしましたが、東京書籍も当時の一般の人々の暮らしを取り上げている所もあり、印象に残りました(貴族と庶民の比較など)。現在、藤沢市で使っている育鵬社は、為政者目線や英雄の話が多く、教科書というより物語みたいだと思うところがあります。これでは、歴史を身近に引きつけて考えられないのではないのでしょうか。		○	
77	育鵬社は憲法と私たちの生活につながる基本的なことが書かれていない。資料がありすぎ基本的な学習がしにくい。			○
78	育鵬社はやめてほしい。歴史は近代史が日本が侵略したことが書かれていなく、戦争が美化されている。			○
79	育鵬社の教科書は、世界大戦の表記に偏りがあるように感じました。現場の教員がふさわしいと考える教科書を使ってほしいと思ひます。			○
80	明治維新は明暗それぞれあり、時代が変わる部分には、その両面があることを子どもには知ってもらいたい。育鵬社は明の部分が強く示され、暗の部分が少なく、バランスが悪く感じた。			○
81	歴史についても育鵬社は他の教科書とちがひ、客観的事実に基づいていない表記が多いと思ひます。客観的事実にもとづき、自分たちが考えていける教科書が良い。またあつまっている人物も多く、育鵬社版は藤沢の中学生に必要ながない。			○
82	育鵬社の「新しい日本の歴史」を採択することには反対いたします。市民、現場の先生たちの声をよくきいていただきたい。			○
83	歴史の「解釈」はいろいろあると思ひますが、教科書は大人向けの読みものではないのですから、できるだけ、科学的な視野に立った記述の教科書がふさわしいと思ひます。その点、「育鵬社」の教科書は、ひとつの考えに導こうとする意図が見え見えで危険です。是非、採用をやめてください。			○
84	現在中学校で使用されている育鵬社の教科書は、歴史の認識が違っていたり、現内閣総理大臣の写真の多用などかたよっているとと思ひます。育鵬社の教科書は採用しないでほしい。			○
85	(歴史)育鵬社はGHQによる教育制約をあまり受けておらず大変すばらしいと思ひます。(例えば、大東亜戦争と明記している点など)ぜひ、今後も採用していただきたいと考えます。		○	
86	育鵬社の歴史公民について、憲法、アジア太平洋戦争などのとらえかたに疑問を感じる。歴史の太平洋戦争という呼び方は戦後であるとし、「大東亜戦争」つまりアジアの解放を願った戦争の言い方を今回も残している。またそれを強調する写真も載せている。戦争は侵略戦争であるのは当然ですが、アジアを解放する大東亜戦争であるとする戦争観は許されるものではありません。育鵬社の歴史、公民は絶対反対です。現場の社会科の先生方はこの8年間困っていました。	○		
87	育鵬社の歴史公民の教科書が採択されてから9年になります。この極端な教科書で学び藤沢の子どもたちが心配です。弁護士などを目指す人は不利です。大人が面白がって読む分にはよいかもしれませんが、基本的人権や加害の歴史を学ぶことができません。E元市長の個人的な趣味で教育が歪められました。教育委員会の議事録を読むとよくわかります。日本会議にオルグされていた教育委員が育鵬社教科書に誘導した様子がわかります。こんな極右団体の教育への介入はこの夏で終わりにしましょう。			○
88	現代史については山川出版、帝国書院、日本文教出版、東京書籍、学び舎ともに6社は史実に基づき、人々の暮らしの視点を忘れず、世界とのつながりから著されている。育鵬社は為政者や権力者側からの視点による史実を描き、歪められているので賛成できない。			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
89	教科書が憲法にてらしてどうかと考えた。いま使用している育鵬社の教科書は平和、人権、憲法の三原則を否定しようとするように受け取れる文になっている。例えば日露戦争、アジア太平洋戦争でも、日本の他国進出を正しかったという立場で書いている。憲法のとらえ方も、戦後の日本に、人権、男女平等・・・を導いたことに対する評価がない。			
90	藤沢市が現在採択している教科書は忘れもしない、娘が中学に入学するときにプレゼントされた苦い思い出です。本来歴史とは事実の積み重ねを学び、未来に生かすもののはずです。思想、心情とは別に正しく史実を学ぶ機会をどうか奪わないでください。			○
91	育鵬社の戦前、戦後のあたりの内容は一方的な見方の内容になっていると感じた。			○
92	第二次世界大戦後の憲法制定について、アメリカによる一方的な押し付け憲法というイメージを強調していて育鵬社は問題あります。その時の日本政府として主体的に判断し「よし！」とある内容があったはず。戦争放棄、平和主義、国民主権への考え方を示すべき。			○
93	育鵬社の歴史教科書は使わないでください。戦争賛美の歴史観、世界観を子どもに教えようとしています。①侵略戦争、植民地支配を自存自衛のための戦争、アジアを解放した戦争と肯定、美化し、世界に通用しない歴史観を教えています。②天皇の人間宣言や教育勅語や修身が失効したことが書かれていません。③戦争の悲惨さや犠牲、戦争に反対した人たちのことが書かれていません。④植民地を手に入れようとした、アジアへの侵略戦争であったことが書かれていません。			○
94	育鵬社の歴史書は偏りがなく、人物が成したことをわかりやすく、そのごどうなっていたかを丁寧に説明している。子どもたちに夢や希望を持ってもらいながら学べるのではないかな。			○
95	学校の先生方が望んでいる教科書を選んでください。歴史、公民の教科書として長年藤沢市は育鵬社のものが使われてきたことは知っています。全国的に育鵬社の教科書は藤沢と横浜だけだと知りました。中身がよくありません。教科書は子どもたちに真実を伝えるものであるべきです。育鵬社の教科書は使わないでください。			○
96	現在藤沢市で使われている育鵬社の歴史教科書は採用しないでください。神話を多くのページに使い、神武天皇が初代の天皇であるかのような記述は、歴史と神話を混同し、歴史学の上でも問題です。大日本帝国憲法を称賛し、日本国憲法をGHQにおしつけられ、拒否した場合天皇の地位が存続できなくなる恐れがあると考え、やむを得ずこれを受け入れたという考え方は、天皇中心に世の中を考え、一面的で戦後日本を考えるのにふさわしくありません。国民とともに歩む天皇、年号と日本の歴史、のところでは天皇中心に歴史がつくられてきたという一方的な考え方で教科書としてふさわしくありません。			○
97	なぜ戦争を奨励するような教科書を編集する必要があるのか。戦争のない平和な生活ができるようにするのが国の責務だと思います。歴史は事実を伝えることが最も大事なことです。それなのに当時の日本政府が犯した悪政を反省することなく正当化させようとする教科書で生徒たちに教えることは反対です。現場の先生方の意見を尊重して採択されることを望みます。			○
98	育鵬社の教科書は採択しないでほしい。日露戦争 勝利だけが強調され戦争の背景、国民の負担などきちんと書かれていない。			○
99	育鵬社の歴史教科書で全体的に戦争を賛美する方向に導かれているように思います。過去の人々が厳かな気持ちで天皇のために命を落としていったとしても、人命は守られなければならないし、一人ひとりが考えて自らの命とすべての人々の命を尊重されなければならない。天皇とその他の命のために、一人一人の人命が犯されてはならない。			○
100	※育鵬社の歴史の教科書を採択しないでください。※育鵬社の教科書には様々な問題を感じます。 ・神話が歴史的事実であるような書き方をしている。 ・アジア・太平洋戦争に「大東亜戦争」と副題をつけ東南アジアを欧米による植民地支配から解放することが目的のような記述がある反面戦争の悲惨さや戦争に反対した人々がいた事等の記述はなく、侵略戦争肯定の内容になっていること。 ・日本国憲法はGHQの押し付けだから「改正」するのが当然のような表現になっていること。 天皇の人間宣言や教育勅語の失効など他の教科書にしっかり書かれていることが育鵬社版にはありません。 ※子ども達に、学問の成果を反映し真実を伝える教科書を与えたいです。			○
101	藤沢市に勤務していた、もと教師です。 現在採用されている育鵬社の歴史と公民の教科書は現場の教師から使いにくいと評判が悪いようです。歴史の記述についてかなり”かたより”がある気がします。太平洋戦争についての記述は、アジア諸国の植民地支配からの解放を強調し、中国アジア諸国への侵略戦争だった部分の表現が少ない。 戦争の負の面(悲惨さ、犠牲者の記述)が少ないと思います。これでは戦争を学習するのがかたよってしまいます。他社と比べても、かなりかたよっています。東書などは、学習の視点や多面にわたった資料がのっていて学習しやすいと思いました。時間が少なく、他教科は見られませんでした。	○		

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
102	「歴史」に関して育鵬社と帝国書院を比べてみた。育鵬社は近現代の戦争についての記述が恣意的な感じがした。時の政府の戦争政策を正当化している。従って植民地化とか、そのもとでの皇民化教育というところがないか、弱い。戦争下における国民の窮状も弱い。30分という制限の中でも感じたところ。また公民の憲法のところも非常におかしい。明治憲法を美化する一方、現憲法も問題があり、改憲すべき方向へと導く展開。憲法は政府を規制するものというのが憲法学者の通説だが、国民が守るべき義務と展開している。国民主権のところは天皇の記述が圧倒的(写真も)。まるで明治憲法(天皇が統治者)をひきついでいくべきであるかのような印象。	○		
103	9年間にも渡って育鵬社の教科書を藤沢の子どもたちが使ってきたことに大変な危機感を覚えています。過去2回の採択でもこの教科書が選ばれた理由が不明りょうで、教育委員の方たちもしっかり精査した上での選択だったのかとも疑問です。現場の先生たちの評価も低かったはずでうちの子どもの教科書を使って勉強しましたが書いてあることがわかりにくく理解しづらく、他の教科書、参考書を使って勉強していましたが、学校では教科書準拠のワークブックが配られ、それをテスト前に解いて提出しなければならず、それが提出物として内申評価の対象となったのも納得いきませんでした。 他社の教科書と比較してみると、公民でも、歴史でも個人を尊重し、社会を形成する一市民として育てるという意識が希薄で、これからの先の見えない、何が正解なのかわからない社会を生き抜いていく子どもたちに渡す教科書としてふさわしくないとします。今回はぜひ、しっかりと採択を行って下さい。個人的には、歴史も公民も教育出版がよいように思いました。	○		
104	育鵬社の歴史は採択しないで下さい。中学校社会の歴史では、グローバル化の進むこれからの時代を生きていく為には近現代史を通じて日本が近隣のアジアの国々とのような関わりを持ってきたのか光も影も学ぶ必要があると思います。しかし育鵬社の歴史は戦争は「自存自衛」のもので植民地支配も良いことをしてあげたというトーンで書かれています。一方アジアの国々の子どもたちは日本が行ったことは学んで育ちます。歴史教育が「我が国」に誇りを持たせる為にあっては困ります。歴史研究、教育実践を踏えた科学的な学問を基礎に叙述されている他社、中でも帝国書院と比べるとその差がよくわかります。			○
105	”海老根市長が採択した”と言われ続ける育鵬社教科書を、”鈴木市長が替えた”と是非教科書問題に終止符を打って頂きたいです。今年2月、かながわ県民プラザで行われた”日中戦争の写真展”に行きました。目をそむけたくなるような事実を目にし、また決して目をそむけてはいけない事実を無知だった私は知りました。価値観を押し付けるような教科書ではなく、偏りのない事実を教える教科書に変えて頂きたいです。お得意様の神奈川県、はずかしいことです。			○
106	項目ごとに読みやすいものもあるが大きくて重そう。全てがカラフルになっていて資料集のようだった。育鵬社のものは他の教科書と歴史認識がちがうものがあったりして他の市町村がたくさん育鵬社以外のものを使っていたら藤沢市の子どもたちだけ違う意見になりそうでこわい。			○
107	歴史公の民という考え方が怖かった			○
108	時間が限られていたので歴史しかみることができませんでした。育鵬社版は神道、天皇が目立っていて国民、庶民、市民がどう歴史をたどってきたかの記述が少なく感じました。そして戦争についても、日本がしてしまったこと、市民の生活がどうばばわられていったかも表現が中途半端で、これでは、何の為に歴史を学ぶのかわかりません。人が人を殺す、絶対にはいけないこと。歴史を学び同じあやまちは、くりかえさぬこと。人間が人間らしく自由に、協力し合って生きている社会を作っていくような思考力が育つ教科書で学んでほしいです。つまりこのまま育鵬社で学んでほしくないです。			○
109	育鵬社の教科書の日本国憲法や教育勅語など日本が本来どうあるべきかの説明には何らかの強い作為を感じます。(現政権の思想に通ずる国民の意に寄り添わず、経済優先の考え方など。)こんなゆがんだ事実ばかり列記する教科書で、もし子供たちが学んだならば日本の将来は暗いものとなるでしょう。国民ひとりひとりが考える力を身につけるには、これまでの日本の歩みに対する正しい理解が必要です。育鵬社の教科書を採用している藤沢市には不信感を抱きます。子どもたちの輝ける未来をふみにじらないでください。事実をありのまま、子どもたちに伝えて大人も一緒に考える国に！		○	
110	学習内容が多く学習をするのが大変そうだと感じた。グローバルな視点をもって日本や諸外国と対話、交流を進めていけるような学習をしていけるとよいと思った。	○		
111	一部の見本本において、いたずらに領土であったり、日本国憲法の扱いであったり、歴史認識等で、日本よりの視点が強いものが見られたのが残念であった。幅広い視点と情報の中で生徒たちが学べる教科書が採択されるとよいと思った。	○		
112	印象にのこったのは「学び舎」の教科書が視点や切り口、課題設定などがユニークだと思った。	○		
113	戦争や他国との関係について、当時の日本側からの見方だけでなく、記述されている教科書が望ましいと思います。事実が、その後の日本人や他国の人々に与えた意味が考えられるような教科書で学ばせたいです。学び舎がバランスよいと感じました。		○	

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
114	育鵬社の記述に強い偏りを感じる。①「教育勅語」に対する育鵬社の解しやくはあたかも国の都合のいい様に子ども達を飼いならそうとする意図が透けて見える。②「日本国憲法」憲法が作られたいきさつや意義より今後の憲法改正と再軍備のほうがかローズアップされている。現自民党政権の考え方を子どもたちに押しつけているよう。③「原子爆弾」唯一の被害国として原爆の悲惨さの記述がない。(第5福竜丸についても記述なし)世界が核兵器廃絶に向かうなか、平和な世界の実現に対しての記述も足りない。			○
115	山川出版社、各ページにある黄色い囲みの設問はいろいろ考えさせられることが多く、良いと思った。教員も相当勉強が必要になるのではないかと。特に大学で歴史を専攻としなかった方はいろいろ大変でしょう。最近教員が忙しすぎるとよく聞きますが、このような教科書を教員が十分研究して授業にあたるよう、ゆとりを持てるよう配慮が必要と思われます。藤沢市の教員の労働時間はどのなのでしょう？参考図書などを購入するため市費は十分支出されていますか？			○
116	育鵬社の教科書について意見を述べます。今年は新型コロナウイルスが世界中に広がり、パンデミックを起こしました。従って世界中の国々が協力して感染を押さえなければならぬのです。戦争等している場合ではないのです。しかし、この教科書は戦争を賛美し、戦争による犠牲や被害、日本国民の負担等は書かれていません。日本国憲法は平和の尊さをうたい、恒久平和を理想としていますが、この教科書は「改正」しないといけなく書かれています。世界中が共存共栄し、どんな疫病にも情報交換し、仲良く繁栄してゆきたいものです。とに角、教科書採択にて現場の先生方の声を最優先させてください。			○
117	日本軍がしてきた戦争は領土拡大、侵略戦争だったことは事実で、その事実を生徒に教えてほしい。日本国憲法は、日本の民間団体の憲法案を参考にしてできたものだとは私は学んでいます。育鵬社の教科書ではGHQが押しつけたものと学んでしまいます。先生方が望む教科書を採択してください。			○
118	私の孫が今年4月から中学一年になりました。しっかり勉強して家族や仲間を大事にするよい青年に育って欲しいと思っています。その子供を成長させる為に教科書は先生にとっても子供にとっても一番大事であると思います。特に日本が戦後75年間この国とも紛争にまき込まれなく平和に暮らせていることは素晴らしいと思います。今日6月23日は、新聞やテレビで報道されていますが、沖縄県民が太平洋戦争の激戦のなかで20万人の人がなくなった日です。私も2才の頃、東京大空襲で逃げまどい大変な思いをしました。二度と戦争を起こしてはいけません。あの戦争を「正しかった」「アジア開放の斗いだ」などは絶対に間違っています。育鵬社の教科書は採用しないで下さい。			○
119	30分では短すぎる。最低一時間位必要です。聖徳太子の仏教導入により、豪族同士の争いがなくなり、天平文化、平安文化が生まれ、400年の平和が続いた。17条憲法の素晴らしい要素の一つである。江戸時代も徳川家康は儒教を学び、260年の平和を築いた。能、浮世絵、歌舞伎等の文化が生まれたのもその故である。24年より渋沢栄一が一万円札の肖像に選ばれたが、論語を学んで実践してきている。武士道精神こそ現在の日本人が範としなければならないと思う。育鵬社の教科書は全体の構成がよくできていると思う。			○
120	「学び舎」が民衆の立場に立っており、(15)では未来は私たちの手にと、不当なバイトに声を上げるなど自分の人生とつながる方向が見えて良いと思いました。育鵬社には有名な人などの登場が多すぎます。又、今の政治の方向に寄り添いすぎていると思います。			○
121	藤沢は「平和条例」を持つ市であり、かつて市教育委員会が「平和教育の手引き」という冊子を出し、子どもたちがこれからの平和のための活動の担い手として育つよう努力してきた市です。ところが、育鵬社の歴史・公民の教科書は、平和の担い手、主権者として必要なことをしっかり学べない教科書です。公民では男女の平等、福祉、働くものの権利についても必要なことが書かれていなかったり、子どもを迷わすような書き方がされていると思います。歴史ではあまりにも自国中心で、日本はすばらしい！という書き方が目立ち、よいことも悪いことも含めて、歴史を学び、これからの生き方に活かしていこう、という姿勢ではありません。育鵬社の歴史・公民の教科書は採択しないでください。他の会社では帝国書院の基本的な人権のところは、やまゆり事件後の私たちに強く迫るメッセージを感じました。教育出版、帝国書院は全般的に子どもたちにわかりやすく、また、さまざまな課題を自分のこととして考えさせる工夫がされていると思います。			○
122	平和を何よりも願う市民にとって内村鑑三、幸徳秋水、与謝野晶子「君死にたまふことなかれ」等重要だと思えます(東書・帝国・教出)。育鵬社の日露戦争の扱いだけを見ても、戦争を勝利、全滅の戦果という言葉が躍っているのに違和感があります。国民生活の痛手を扱っていないし、「有色民族」ということばは初めてです。			○
123	歴史は史実を伝え考えることに意義があると思います。解釈も偏ったものは思考力未発達の中学生に不向きだと思います。教員の方々が違和感なく使えるものにしてほしいと思います。			○
124	これからを担う子ども達が正しく歴史を学び			○
125	アジア太平洋戦争をアジア解放の戦争であったとし、日本の被害を強調してもアジア諸国民等に与えた苦難にはふれないのでは正しい歴史認識は育たない。憲法にのっとった教科書を、現場の先生方が胸をはって教えることができる教科書を、現場の先生の意見、願いをきいて採択してほしい。ー育鵬社版についてー			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
126	育鵬社の教科書は、歴史的事実、政治的背景など“きびしい”などの言葉を多く使い中立的な立場をとっていない記述が多いように感じられる。学習指導要領にも入っていない人物を多くとらえ子どもたちに思想の支配のようにねらっているように思う。教育は、中立的な考えで、子どもたちが判断していくもので考えを深めていくべきだと考えます。国の歴史や政治の考えを肯定的に書きすぎだと思えます。子どもたちも自然と読み正しいと思ってしまう教科書です。育鵬社の教科書は、使わないでほしいと思います。			○
127	今の歴史の教科書(育鵬社)は、先生からの評価が低く、教える側としても使いにくいという意見が多いというのが気になっています。なぜ現場の意見が活かされないのかギモンです。歴史背景も他の教科書会社とちがうとらえ方をされている部分があり、全国的ではない知識を子どもにうえつけられそうです。		○	
128	これまでの藤沢市では、二期にわたって育鵬社の教科書が採択されています。現場の声を無視した形で。私は小学校教諭なので実際に育鵬社の教科書を使って教えたわけではありません。しかし、知り合いの中学校の先生方からは、育鵬社の教科書は使いにくい。入試に向かない。教えるべき内容を精選している。などと話を聞きます。そして今回実際に中を見ましたが、私も中学校の先生と同じように思いました。まず第1に人物の扱いが多いということ。私がこれまで学校生活で習ってきた中で、知らない人が多い印象でした。生徒にとっては、誰が覚えるべき人物なのか、本当に大事な人物は誰なのかが分かりにくいと思います。第2にというかこれが一番大きな問題だとは思いますが、偏った歴史観を教えることになる危険性があると思います。「日露戦争の大勝利」「ナチスドイツの快進撃」のような戦争を賛美する記述はおかしいと思います。大勝利の裏にはたくさんの方が亡くなっています。「戦争はいけないこと」「大勢の犠牲がでること」「一般の人の生活の人に大きな影響を与えること」そのことを教えるべきなのに一貫して戦争を肯定するような論調です。私は、育鵬社の教科書は、これからの未来を担う子どもたちにとってふさわしくないと思います。教育委員の皆様には、どうか現場の声を聞き、子どもたちの未来を考えた公正公平な判断をお願いします。	○		
129	人権・民主主義・平和をていねいに扱っているものをえらんでください。			○
130	〈歴史〉子どもたちが人間と平和を愛する子に育ててほしいです。その意味で、今の日本国憲法の精神を大事にした教科書の採択を望みます。育鵬社は、日本の侵略戦争の反省がなく「大東亜共栄圏」を肯定していて、問題です。これでは、必要な戦争はある、となってしまいます。			
131	育鵬社の歴史を採択するのはやめて下さい。育鵬社の歴史の代表著作者である伊藤隆東名誉教授が大阪毎日放送のドキュメンタリー番組で(2010年7月放送)育鵬社の歴史を通して何を学ばせたいのかという問い「学ぶ必要はない」育鵬社の歴史を通して「反日ではない」「左翼ではない」「ちゃんとした日本人を育てる」と発言しておられ、ビックリしました。この過程は岩波書店の『教育と愛国』という本にそのまま掲載されています。歴史を通して藤沢の子どもたちにはたくさんの方のことを学んでほしいと思います。歴史は科学としての学問です。それらを踏えた教科書を選んで下さい。			○
132	1. 学び舎は世界の国とのかかわりの中で日本の歴史を見ている。視野が広くていい。 2. 育鵬社は太平洋戦争を大東亜戦争としている。まるでアジアの国々を解放する戦争であったような表記になっている。こうした認識では他の国々やその国民といい関係はつくれない。藤沢の子どもたちにふさわしくない。	○		
133	私は、子ども2人が藤沢市立の小中で育ちました。その間に歴史と公民の教科書が、納得いかない形で採択されたことは、とてもショッキングなできごとでした。育鵬社の歴史・公民教科書は、過去にも、今回も見る度にその内容にギモンを抱きます。今日は、沖縄慰霊の日。かつて日本が間違った外交で、戦争をおこし、国民の・・・をギセイにした事実を無視し、その上、世界に誇る平和憲法を軽視した記述、自衛隊や安倍首相をわざわざ写真にさんざんのせて宣伝するような内容には嫌悪を感じます。教科書は、直接子どもたちの授業にたずさわり、日々研究されている現場の先生方がふさわしいと望むものを選んでいただきたい。そうするだけで、9年間も使われてきた育鵬社の教科書とさよならできると思います。公正な採択を望みます。			○
134	現場の先生が使いにくいと言っている教科書が採択されたことは疑問です。特に歴史はきちんと学んでほしいのに、今の政権の代弁者のようになっていてびっくりしました。また、公民では、国民主権を学ぶページの半分を象徴天皇制度にあてているのもおどろきです。		○	
135	現場の先生方の意見を尊重して下さい。歴史は「学び舎」が内容・構成ともによく推薦します。「育鵬社」は現場の先生方も使いづらいと聞きました。他の人が利用していたので見れませんが、よく考えていただきたい。			○
136	今回初めて教科書展示会に行きました。藤沢市では中学校の歴史と公民の教科書に育鵬社を使っている、先生からは、使いづらい、学校現場の声を聞いてほしいという意見を耳にしたからです。育鵬社の歴史教科書を読みました。「主張」があり読み物としては面白いですが、教科書としてはどうか？と思いました。「主張」が少し偏っていて、生徒が歴史を多面的に捉えることができなくなるのではと心配になりました。例えば、太平洋戦争を”大東亜戦争”と紹介し、それが東南アジア、インドの独立への希望を強くしたと紹介していますが、一面的な捉え方ではないでしょうか？また、日本国憲法の制定の経緯の記述ですが、大日本帝国憲法の僅かな修正で問題ないと読めるような文脈だったり、「GHQは・・・これを受け入れるよう迫りました」と押し付け憲法のニュアンスを殊更に強調し、日本国憲法の3大原則、国民主権、基本的人権の尊重、戦争放棄(平和主義)を欄外の扱いにし、戦争放棄についてのみ、本文にて問題点を記述しています。沖縄戦の扱いでは、よくがんばった。最後まで頑張った、日本軍の責任者太田実少尉は自決したといった美談扱いしていることなど強い違和感を持ちました。			○

番号	【社会(歴史的分野)】 教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
137	アイヌのことを取り上げているか。おざなりでなく。教育出版がアイヌと差別を誠実に記述している。満州国について記述しているか。おざなりでなく。帝国書院がよい。海外へ出てもどってきた者たち(民間も兵士も)の、持ち帰り文化はギョーザだけではない。			○
138	女性と子どもについては学び舎の歴史が圧倒的に良い。			○
139	天皇にかかわる記述が多く、天皇制の見方がかなり偏っているように思われる(育鵬社)。事実に対する課題の出し方がかなり恣意的に出題されている(育鵬社)。被爆の実話などの記述はとでも少なく、日本の敗戦と天皇、ポツダム宣言と天皇の記述など、事の軽重がばらばらに書かれている(育鵬社)。			○
140	現在使用されている育鵬社で問題と思う所を記します。育鵬社で太平洋戦争を大東亜戦争と記されていた。今まで見たことない表現で疑問を感じた。沖縄戦では「沖縄の住民が逃げ場を失って集団自決に追い込まれた」と記されている。けしてそうではないと感じます。日本軍によって手りゅう弾を渡され、自決した人は大勢います。今日は慰霊の日。沖縄の人がそれを見ると悲しいだろう。他の教科書会社は、戦争の悲惨さ、多くの犠牲、日本国憲法は日本の民間団体の憲法を参考にしてできた事等、しっかりと記されている。			○
141	歴史・公民の教科書は、人権について深く考えられる教科書をえらんで下さい。			○
142	学び舎のアンネの日記は、現代に通じてすごいと感じ。「なぜ軍備にお金を使って、医療芸術に使うお金がないとか、食料がありあまってくさるのに飢え死にする人がいるんだろう」同じ年代の中学生に考えるヒントを与えてくれると思う。捕虜となった日本兵や子どもなど、戦争のひさんさを伝えていてとても良い本と思いました。他、水木しげるの絵やだびの絵も戦後の戦争被害者への補償なども考える大事な資料ですね。イラク戦争や原発事故など、現代の歴史についても考えさせてすばらしいでした。育鵬社の天皇の記述は偏りすぎ。私の身はどうなってもかまわないとか、戦争のところでは、日本軍が強かったとか、戦争のひさんさや、日本が外国を侵略した事実がえがかれず、子ども達に正しい歴史を伝えていない。			○
143	育鵬社の教科書は、中学校で教えている先生が大変使いづらい、配列に無理があると話しておられました。今日は沖縄慰霊の日で、沖縄戦のところを読みましたが、自決等、島民の気持ちで行われたように書かれていて、それで良いのかと思いました。歴史に学ぶ教科書として、孫に使わせたくない教科書です。9年間も藤沢市が使っていたのは大変悲しいです。			○
145	〈歴史〉2期に渡って使用された育鵬社は「日本」を「我が国は」という表記を使用しているが、多様性に富む藤沢市にはふさわしいとは思えない。秀吉の朝鮮侵略や、明治以後の日清、日露戦争の表現や韓国を植民地支配に置いた日韓併合が満州国の記述には歴史的検証をふまえたものに欠けている。アジア太平洋戦争を自存自衛として書かれているのも、グローバルな観点から公教育としては、疑義を唱えざるをえない。またくしくも今日沖縄は、「慰霊の日」ですが、沖縄戦の記述や軍による集団自決をあえて書かない教科書なので使って欲しくない。また、公民につながる日本国憲法も異様で、他の教科書とは明らかに違っている。藤沢の子ども達の教科書としてふさわしくないことを伝えたい。			○
146	子ども達に正しい歴史を伝え、真実を学ぶことは世界的にも通用する大人になると思います。学校の先生方の意見を取り入れた教科書を採択して下さい。			○
147	育鵬社の歴史教科書には戦争を実態とちがった表現をしているので採択しないで下さい。現場の先生方の声を聞いて下さい。			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	育鵬社の教科書を見ました。平等権のところでもわざわざ「夫婦同姓は合憲」を新聞資料に載せて、男女のちがいを強調した記述が各所にみられます。歴史も一面的です。育鵬社教科書はやめて下さい。			○
2	育鵬社の教科書の基本的な人権のところも「公共の福祉」による制限ばかりです。人権の大切さこそ先生には教えてほしいです。育鵬社の教科書はきめつけ、しぼり、心がけを教えるという、およそ憲法の本質とはかけはなれています。採択しないでください。			○
3	育鵬社の公民は、たくさん問題を抱えており、藤沢の子どもたちにふさわしくありません。たとえば、憲法改正の問題でも改正の数が少ないことを強調し、改正ありきで2ページも説明を重ねています。さらに憲法学習のまとめで子どもたちに課題を指摘させ、改正案を考えさせています。例示に前文と9条があり、ここでも改正に子どもたちを導く構成になっています。両論あるならばきちんと両論について考えることができるようにすべきです。			○
4	主として公民教科書、特に藤沢市で用いられている育鵬社を中心に拝見しました。第一には実際に授業で使用される先生方の意見を尊重していただければと思いますが、敢えて申し上げれば、悲しい思いをする生徒が出ないようご配慮ください。育鵬社教科書は以下の理由だけでもさけるべきです。①AIにとってかわられる可能性の高い職業を名指した図(p136)、②外国人については、参政権は認められない(65p)とか、社会権は本来認められない(63p)とか、認められないところを強調し、一方で、社会保障が受けられる点、恩着せがましく(?)書いて外国人も納税していることにはふれず、あげくのほたてには、日本国籍をとったらすべてみとめられるとか、外国人の生徒がどう受け止めるのか…。③生活保護費ギャンブル流用の記事(63p)そんなことする人はごく少数なのに、受給世帯の生徒はどう受け止めるか…。		○	
5	戦争の悲惨さや戦争のおびただしい特性、戦争に反対した人たちがいた事などをしっかりと書いてほしい。意図的に少なく書いてある教科書がある。もっと国民目線で書いてほしい。			○
6	育鵬社の公民は、平和主義＝自衛隊一色ようです。他の教科書会社には、戦争の苦い反省から生まれた平和主義をしっかりとおさえて書いています。又、沖縄と基地のところでも、「日米安保体制は日本の防衛の柱」として、「平和と安定に不可欠」としています。沖縄の人々がみたら悲しいです。育鵬社教科書(公民)は採択しないでください。			
7	「国民」を大切にしたい目線が少なく「国家」主義を感じます。政党の説明も4党だけというのはおかしいです。☆教科書は、現場の先生が自信をもって使用できるものであってほしいと思います。前回のよう先生方が推薦しなかった「育鵬社」については、ぜひ考えてほしいです。	○		
8	・帝国書院の「公民」には外国籍の子が授業を受けている写真がある。外国籍の子が増えてきている藤沢の学校にふさわしい。 ・日本文教出版の「公民」 ①SDGsについては、各社取り扱いがあるが、発展途上国の子どもがPCで学習している写真があり、まさに今を切り取ったもので、子どもたちに考えさせたいテーマとなる。 ②イギリスのEU離脱について EUの公正・安定なくみと「むだが生まれる」部分と両面から記述がある。客観的な記述の仕方がよい。	○		
9	理由 ・教員の意見を尊重してください。 ・展示会場は、気軽に行きやすい学校や公民館などもっとふやしてほしい。 ・育鵬社の教科書は選ばないでください。 平和主義は連合軍に要求され制定。日本の平和は、自衛隊とアメリカ軍のおかげ→戦争の反省・不戦の誓いから生まれた平和主義です。歴史から学ぶ教科書であってほしいと思います。帝国書院は、女性のこれからの生き方→女性の労働と家事の環境も考えられるようになってほしいと思った。			○
10	自由社・育鵬社…基本的人権の尊重についての説明が貧弱で説明になっていない。 帝国書院は、2Pにわたり、くわしく中学生にわかりやすく説明してよい。			○
11	公民や歴史は、過去を正確に伝えないと又、国民の本当の気持ちを誤って伝えると、子ども達に歴史が正しく伝わりません。現場の先生方、又、文民の意見を大切にしたいと思います。			○
12	「平和主義と憲法9条」育鵬社の平和主義は、連合軍に要求され制定、日本の平和は自衛隊とアメリカ軍のおかげの話に大変な違和感があります。憲法9条の記入がぬけています。 「国民主権と天皇」育鵬社では、現憲法の主権在民が薄れ、個人が国家に強調され、議会制民主主義が間接民主制となり、重きを置いています。天皇の位置づけに太平洋戦争の反省の上に現憲法が生まれた記述が大切だと思います。 全国でも、育鵬社の教科書を使用しているのは10%位と聞いています。戦争をきちんと反省して、現憲法が生まれたことをきちんと子どもたちに伝える教科書であって欲しいと願っています。			○
13	平和主義について ・育鵬社…自衛隊のことがたくさん書かれているが、そもそも前の戦争の反省がなく、平和憲法の記述もほとんどなく、ほかの教科書と比べても、内容がかたよっている。		○	

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
14	<公民>育鵬社→第9条と自衛隊で政府見解をそのままのせるのは変。国民主権に天皇の写真がいっぱい出てくるのは変。 帝国→日本国憲法の三大原則について、きちんと説明がされていて、わかりやすい。又、学習の課題が的確。東京書籍→同様だが、子どもの権利条約もっており、自分たちの権利について知ることができる。少数意見の尊重が明記されているなど、これから社会生活をいとなむ上で大切なことが書かれていると思った。			
15	公民(育鵬社)大事な憲法についての記載が、憲法改正に向けていきたい意図を感じる。			
16	育鵬社「新しいみんなの公民」と他社の教科書を比較して読ませてもらいました。公民についても同じで、これからの日本を切り開いていく子どもたちに、固定概念や考えを押しつけてはならないと思います。育鵬社以外の教科書を選んでいただけますようお願いいたします。			○
17	帝国書院の憲法の文がとてすばらしいと思いました。また、教育出版の「平和主義のこれまでとこれから」の特集も、平和に生きるこれからの考えさせることができると思いました。育鵬社の公民は採択しないでください。			○
18	新聞で取り上げられていましたが、育鵬社の教科書は右寄りに誘導しようという意図が感じられました。2003年～2005年に帝国書院の教科書で学んでいた身としては、そちらに戻してほしいと思います。子どもたちの自由な発想が育つように、冷静な審査をしてほしいです。29歳男性、中学社会、高校地理歴史の教員免許を持っています。			○
19	育鵬社:平和主義のページに自衛隊の式の様子が載っているが、もっと別のほうが適切なのではないかと思います。		○	
20	育鵬社の公民教科書を見ました。憲法の平和主義は自衛隊のことばかりのように思いました。育鵬社の教科書は採択しないでください。「戦後の日本の平和は、自衛隊の存在とともにアメリカ軍の抑止力に負うところも大きい」と書かれています。こういう一方的な書き方でいいのでしょうか。戦後の日本の平和はアメリカ軍がいるからとしたら、基地は平和のためにずっとあって当たり前なのでしょうか？沖縄の人が悲しくなります。平和主義の精神は外交努力によって戦力を持たない9条の役割を強調し、考えさせることではないでしょうか。			○
21	歴史・公民の現在使われている育鵬社の教科書は問題が多いと思います。戦争の記述に被害面のみを載せて加害の歴史に触れないとか、日本国憲法の内容を丁寧には示さないなど偏っているように感じます。公民の教科書の自衛隊を憲法に明記するかどうかの新聞社の世論調査の出し方が、大多数の意見というような印象の写真だと思いました。その点、学び舎の教科書は素晴らしいと感じました。		○	○
22	2011年から9年間藤沢市の中学生が学んでいる育鵬社(歴史&公民)は大変問題がある教科書だと思います。今日は公民を読み比べました。「立憲主義」の説明すら誤っています(育鵬社)。憲法改正に多くのページを使い改正に誘導するとても政治的介入を感じます。かたや教育出版は読みやすく今どき(マンガ入り)のだけれど本当に大事なところがおさえてあって、憲法に関する記述は感動してしまいました。(平等・自由・個人の尊重)			○
23	偏りのある見解、感情的な表記は教科書としてふさわしくないと思います。あくまで客観的な事実を述べること様々な角度からの見方があり、その中で生徒自らが話し合ったり考えられる内容であって欲しいし、そのような教科書が選ばれることを望みます。			○
24	グローバルな発展のページ日本とアメリカ比較でなく他国を入れるべき。安倍首相の写真がなぜ15枚も入っているのか。改憲の必要性が強調されすぎ、日本の平和は自衛隊とアメリカ軍のおかげ？とんでもない国民一人一人の心ですよ。		○	○
25	歴史と公民の教科書について、育鵬社の教科書はやめてください。理由は戦争を肯定している表現が多く見受けられたからです。子供が洗脳されそうで怖いです。帝国書院か東京書籍にしてください。また、子どもたちのことを直接見ている中学校の現役の教師の方の意見を取り入れてください。よろしくお願ひします。			○
26	育鵬社は絶対やめてもらいたい「平等」や「人権」の考え方が根本的に他社と違う特に「人権」について「公民」については「義務」を押し付けている。神奈川県民として「やまゆり事件」を忘れてはいけません。			○
27	育鵬社、自由社ともに愛国心を前面に出し、基本的人権の部分の記述が弱すぎます。採択しないでください。			○
28	基本的人権の尊重、国民主義、平和主義をしっかり記述していない育鵬社、自由社は中学生が学ぶにはどうかと思う。			○
29	人権に関することでは、個人がもっている権利についてもっと書いてほしい。国が一体化することに関心を持たずように書いている。(育鵬社公民)		○	
30	歴史・公民については変化が生じやすく4年に一度の改訂では追いつかないと思う。		○	
31	帝国書院の公民の教科書を拝見しています。P36「日本国憲法の成立」を見ましたが、大日本帝国憲法の改正手続が書かれていて納得しました。私が50手前に勉強したものと違和感がありませんでした。(危険な育鵬社の教科書を見に来たのですが、高齢者男性数人が見ていて見られませんでした。残念！)			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
32	育鵬社「公民」の前に「人」「個人」があるのでは?「個人の権利」をきちんと教えることが必要では?原子力発電の危険性にほとんどふれていない。P51有事法制や平和安全法制の危険性がいわれ、憲法違反裁判も行われています。それに関連する記述がありません。			○
33	育鵬社のものは、祭の重要性や文化について書かれている記述が多く、公民でまず、中学生に学び考えてもらいたいことは、ひとりひとりの個人の生きる権利や社会の成り立ちについて、また、その土台となる日本国憲法についてだと思います。また、男女平等やジェンダーフリーについての意識において、育鵬社は、自衛隊の女性パイロットの写真をのせるなど、どういう意図をもっているのかと納得がいきません。男性も女性もそして、LGBTの人も、それぞれの個性を尊重できる社会づくりという視点は、育鵬社の教科書からは読み取れないと思うので、藤沢市の中学生に使ってもらいたくないと思います。			○
34	育鵬社 図で説明しているつむりの部分が多いが、何を意味しているのかよくわからない。記述に無理が多い気がする。これから世界で生きていくには、個人が能動的に活動すべきであると思われる。育鵬社の教科書は個人を定義づけることに重きをおき、その定義は伝統的に見ても根拠がなく、活力を引き出せない。古くさい伝統観だと思う。			○
35	現在使用されている育鵬社の教科書を読みました。例えば、歴史では「美談」が示され、国家のためにこう生きなければならぬと統治者(権力者)からの目線で生徒たちに「要求」している印象です。あくまで国家優先の意識が読み取れます。これからの時代を生きる子どもたちは、自らの考え、自ら選び、自ら行動する力を求められます。そうした力は現行の2冊の教科書では育てられません。ぜひ、現場の先生方が選んだ教科書で、先生方が素晴らしい授業をしていただけるよう藤沢市民として期待しています。			○
36	会社によって内容が少し違うなあと感じました。教員が使いやすい教科書が子供達のためにもよいと思います。		○	
37	過去2回の教科書採択で、現場の先生たちの評価の低かった育鵬社の教科書が選ばれたことに保護者として納得がいかなかったので、今回の採択では特にこの2教科で注目しています。上の子が今年中学校を卒業しましたが、育鵬社はとでも勉強しづらそうでした。書いてあることの意味をとりづらく、受験のときも、塾の先生から、君が使っている教科書わかりにくいから、こっち使おうといいよと、別の教科書や参考書を貸してもらっていました。今、コロナのことがあり、子どもたちは、自学自習を余儀なくされていることがあります。生徒が一人で読んでも自分である程度理解できる教科書がいいと思います。これからは社会もよりいっそうグローバル化し、先の見えない社会で答えのない課題に取り組みながら生きていかなければなりません。日本のことだけでなく世界と協調しながらよりよい世界を作っていける力を子どもたちにはつけてほしいです。		○	
38	山川をみてみたが、今イチだった。参考書にとどめるべき。教科書と参考書はちがう。参考として学び舎の教科書がみれてよかった。こちらを採択してほしかった。二度と育鵬社の教科書を選んでほしくない。現場の先生の意見を一番重要なものとしてとりあげて考えてほしい。育鵬社の教科書は、学校の授業では使わず、先生独自のプリントを使用している。先生の準備の時間もとられ、ただでさえ忙しい先生の負担となり、時間のムダ。教科書も使わないなら、税金のムダ。		○	
39	学校の現場で教えられている先生方が望んでいる教科書が選ばれていないときき、とても残念に思っています。ぜひ、先生方が一番良いと思われる教科書で子ども達が学べたらと切に願います。			○
40	前回の採択で、歴史・公民で先生方の声は無視されて育鵬社に決まったことを聞いて、どんな教科書なのか見に来ました。ちょっと見ただけでは理解できませんが、太平洋戦争のところに大東亜戦争と副題があったのはおどろきです。公民の平和主義のところに自衛隊のことが写真も含めたくさん記述されていました。ちょっと疑問を感じたところです。現場の先生方(日々子どもたちに接し教えている)の声が大事だと思います。採択にあたっては、ぜひ先生方の声を尊重してください。私は、育鵬社は子どもたちに与えたくありません。よろしくお願いいたします。			○
41	改憲をグループで話し合う構成に疑問を感じます!!歴史教科書にある憲法理解そのものが偏っているので、それ子供達に話合わせるのは間違っています。どうか、実際に教科書を使って授業をしている専門知識のある、現場の先生の意見を尊重してほしいです。先生方も使いづらい、生徒もわかりづらい、全国の先生方の評価があまりにも低い教科書を、なぜ使っているのか?不思議であり、大変残念に思います。教科書の内容もですが、選ぶ側ももっと真剣に子供”個人”を大切に考えてください。考える力、平和の大切さを育てたい。それには、育鵬社の教科書では心配でたまりません。どうか、子供たちの学ぶ権利を守って下さい。専門の現場の先生の声、子供たちと保護者の思い、全国の評価を見れば、育鵬社を使うべきではない事はすぐにわかってもらえるはずです。もうがっかりさせないでください。期待しています。!!		○	
42	公民ではまず、日本国憲法の内容をしっかりとらえて、生徒たちに学んでほしいと思う。基本的人権や平和主義など現行の憲法の内容をきちんと扱っているものがよい。育鵬社は「基本的人権」の内容を学ぶ前に、人権の制限や国民の義務を扱っている。「平和主義」では日本の防衛問題ばかりが取り上げられている。また「憲法改正」を前提のように扱っている。まずは、日本国憲法の内容をおさえた上で、生徒たちに考える力を持ってもらうことが大切だと思う。公民についても公平にいろいろな立場の考え方、見方を学べるように扱っている教科書を採用していただきたい。また、より生活に密着した教材、生徒たちが興味を持てる教科を多く取り入れている教科書を望みます。			○
43	民主主義と立憲主義の項目がすごく良いと思いました。子どもたちとともに考えられるような客観的に考え学習できるものと思いました。(帝国書院)		○	

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
44	日本国憲法の制定、GHQが一方的につくって、きびしく押しつけたという表現が、客観性に欠ける。国民主権と天皇というページに違和感がある。天皇は象徴にすぎないという表現がなく、国民主権の定義があいまい・・・他にたくさん、客観性のない表現ばかり。(育鵬社)		○	
45	育鵬社は、憲法の中でも権利と義務の、義務が強調されていると感じた。			○
46	基本的人権の尊重と国民の義務。帝国書院「個人の尊重とは『人は国に奉仕する道具だ』『経済活動ができない人は無駄な存在』といった考え方は許さず、一人一人をかけがえのない存在として、平等に配慮し、尊重することを意味します」一押しのとていい言葉だと思いました。東京書籍は、「子どもの権利条約」をとりあげていた。他社にも希望。			○
47	男女平等、家族。育鵬社の教科書は問題だらけです。多々ありますが、「行き過ぎた平等意識は、社会を混乱させ、個性を奪う結果になることもある」「男女共同参画社会とは、男女の違いを認めた上で互いに尊重し合う社会」はひどい。			○
48	育鵬社の教科書は、「愛国心」や「大日本帝国憲法」ということばが出てきて、かつての軍国主義の日本に戻したいのかという印象を受けました。日本だけが、憲法を改正していなくて変だよという書き方をしていることも親として心配です。もっと、中立的に書かれている教育出版や帝国書院、東京書籍の教科書にして下さい。採択の時には現場にいる中学校の先生の意見を取り入れて下さいますようお願い致します。		○	
49	公民は、教出が◎で、自由社と育鵬社は×。教出は最後に法律などの文面をのせていてよいし、憲法の記述も丁寧。自由社は道徳というか宗教みたいなページがある。公民って日本の文化伝統を伝える教科？！育鵬社は立憲主義の意味をわざとわかりにくくしている。そうとしか思えない。この2社は絶対やめて。		○	
50	日本国憲法の三大原則(国民主権・基本的人権の尊重・平和主義)をしっかりと身につける内容の教科書を採択して下さい。			○
51	東書が見やすかったです。			○
52	戦争はいけません。何が理由であってもダメです。戦争は人を殺し、環境を壊し、儲ける人はすぐ儲けても一般人は儲けどころか心身ともに壊されるのみです。戦争を賛美してはしけません。教師や住民、先人たちの意見を大切にしてください。育鵬社は絶対に使わないでください。私は帝国書院か教育出版がいいと思っています。			○
53	中学公民は子どもたちをエンパワーする内容であってほしいです。育鵬社公民の男女平等に関する記述は、SDGsの全分野ゴール5の「ジェンダー平等」内容にほど遠いものです。(SDGsについては大きく取り上げていますが)家族が個人に優先するとか少子化対策は意識改革が必要などの記述では元気が出ません。また平等の象徴が警察官の子育て講座や空自の女性パイロットの写真となっています。他社ではニュージーランド首相の写真やベアテさん写真、男性保育士の写真など多様な生き方を選べ、ジェンダー平等社会の担い手になろうと示唆していると思います。また現代の差別の実態をグラフや資料を工夫しています。夫婦別姓も新聞見出しで否定的感情を持たせる育鵬社に対して、テーマ学習で討論させる帝国書院が好ましいです。			○
54	藤沢市は平和に関する条例を持つ町です。その条例を軸にさまざまな平和教育の取り組みが行われています。育鵬社では戦後の日本の平和は自衛隊と米軍の抑止力で守られてきたと書きます。前文も9条も本文でしっかり学ぶページがありません。ミサイル防衛の地図もありますが必要でしょうか。これに比べて他社は戦争の惨禍から9条に平和への思いを込めたことが書かれており、教育出版ではさらに「これから」として若い世代が平和の維持を担う役割を掲載し、子どもたちが自分のこととして平和の維持に果たす役割を考えさせています。育鵬社ではない他社の採択をお願いします。			○
55	公民では育鵬社39ページ「憲法は政治権力が濫用されることのないよう抑制する仕組み」と書いてありますが、憲法は政治権力を縛るものです。そのことが明確に書かれていないことは疑問、おかしいです。そんな風に疑問に思うことが多々ある育鵬社でまちがった学びをすることはやめてください。現場の先生方の多くは育鵬社を希望していません。授業をされる先生方の意見を尊重してください。育鵬社の社会科をやめましょう。ぜひ育鵬社をやめてください。			○
56	中学校の歴史教科書と公民教科書は前回と同様育鵬社の教科書を採用していただきたいと思います。領土問題においても、詳しくわかりやすい記述でした。歴史上に登場する偉人を尊敬する、また尊敬したくなる、そして日本を誇りに思える教科書の育鵬社を採択していただきたいと思います。			○
57	第2次世界大戦が終わって、日本国憲法が制定された時のいきさつを見ただけでも、教科書によって違いのあることに驚きます。GHQによって押しつけられたようなとらえ方(育鵬社)もあれば、GHQの考えを受け入れながらもきちんと審議をして決めた(教育出版など)ものなどいろいろです。私は今の憲法はとても立派なものだと思いますし、改憲の必要もないと思っています。それより憲法をきちんと学び、生かしていけるような社会になってほしいと思っています。他の箇所でも育鵬社の記述には違和感を持つところが多々あります。アメリカ軍のおかげで防衛を語ることも納得できません。			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
58	基本的人権のとらえ方も限定的に感じました。県内で使われている教科書では少数派の育鵬社では、入試の時も不利につながらないか少し心配です。以上は素人の保護者の一意見ですが、何よりやはり日々子どもと向き合い、教材研究をされている先生が使いやすいと感じるバランスのよい教科書を使ってほしいです。		○	
59	公民についても憲法についてのところで、育鵬社の教科書のみ憲法改定の手続きについて割と詳しく書いてあり、他国の憲法が何回改訂されているかを載せていました。徴用工問題、慰安婦問題などとの関係で、韓国併合などの記述はどうなのか少々見てみました。育鵬社はなかったと思いますが、教育出版と東京書籍の教科書には三一独立運動についての記述があり、良いと思いました。選定にあたっては中学校の先生方の評価を尊重して下さるようお願いします。			○
60	現在使っている育鵬社は、「男女の役割」「家族の役割」「国民の義務」を強調していて、特に女の子は希望が持てないのではないのでしょうか。まずは、もっと、自分たちの権利や基本的人権、話し合いの大切さ、多様な考えを認める事などしっかり教えてくれる教科書が良いです。東京書籍、帝国書院は上記の件を教えてくれるように思いますし、子どもたちも考えるように導いていると思います。		○	
61	育鵬社は憲法と私たちの生活につながる基本的なことが書かれていない。資料がありすぎ基本的な学習がしにくい。			○
62	育鵬社はやめてほしい。公民は、基本的人権、平和主義について疑問に思うことがある。			○
63	(公民)平等・自由(人権)について記述量が教科書によって差があった。育鵬社は、記述量が少なく、義務や制限についての記載が多く、国民を守るための憲法の意義が伝わりづらいと感じた。			○
64	憲法9条への自衛隊の明記は大きな話題だと思います。育鵬社の公民は憲法の条文を考えさせるページがありました。カードの例文で、9条に自衛隊を明記させるというのがありました。世論では、反対が多く挙がっている中、子どもたちに例文として提示するような教科書はいかがなものかと思いました。子どもたちに戦争意識が教え込まれないか心配です。			○
65	藤沢市は「平和宣言」をしています。戦争することを否定していない育鵬社の教科書は、藤沢市の中学生にふさわしくありません。また、育鵬社版の教科書は、基本的人権について、人権ということについてくわしい表記がなく、制限を受けるケースについて多く書かれていたり、国民主権のページに天皇の写真が多く、大日本帝国憲法のことについて書かれているページなのではと思うほどです。また、憲法改正についての具体的なすすめ方など、改憲を前提として、その方向に先導していこうとするページなども見受けられます。あきらかに偏りがあると思われる育鵬社版教科書(公民)は藤沢の中学にはふさわしくありません。			○
66	全国で2000名以上の弁護士が加盟している自由法曹団が育鵬社の公民教科書に看過できない問題があるとして意見書を発表しました。学習指導要領の『多面的・多角的』考察を求めているいくつもの重要項目において、一面的・一方的見解を述べるにとどまっていると。私もまったく同感です。例えば平和主義は憲法の平和主義が果たしてきた役割に全くと言っていいほど触れていません。平和主義といえばまず防衛力であるかのようです。育鵬社のこのような意見書にみられる問題点が指摘されているような内容を子どもたちに押し付けられてはたまりません。採択しないでください。			○
67	教育出版の公民は、一番大切な日本国憲法や世界を視点に入れた内容の記述で優れていると思います。育鵬社は憲法改正や大日本帝国憲法に力を入れるなど、一部の偏った視点に重心を置く表現と内容なのでふさわしくないと思う。			○
68	育鵬社公民は藤沢の子どもたちにはふさわしくありません。公民で学習する中心課題は主権者教育だと思います。育鵬社は国民主権より天皇について数量が多く、子どもたちが主権者として育っていく展望も持たず、他社のような自分たちが中心として担う可能性を示唆している文言もありません。また基本的人権についてしっかり学ぶべきですが、「公共の福祉による制限」や「国民の義務」の叙述にページを割いています。他社、例えば帝国の公民は個人の尊重をどんな人も取り残さないこれからの時代に学ぶべきことを示唆しています。こういう教科書を子どもたちに渡したいです。			○
69	帝国書院の著作者に池上彰氏、そして憲法学者の木村草太氏の名があり、みてみました。素晴らしい内容でした。特にP59のイラストで、国家権力をしばる立憲主義がわかりやすくおさえてありました。また、憲法改正についてもP62で憲法解釈において三原則の改正は許されないという記述は、子どもたちに理解させるうえで大切な点だと思います。育鵬社公民はひたすら憲法「改正」を本文でも脚注でも記述し、他社とは全く違う内容で考えさせない問題をたくさん抱えた教科書だと思います。育鵬社の教科書はやめてください。入試にも不利だと思います。他社にはない記述があまりにも多く、また肝心なことは書かれていなくて、現場の先生方の意向が尊重され採択されますよう切にお願いします。			○
70	中学生に社会人としての知識を学んでもらうのが公民だと思います。例えば現在の社会においての問題(格差、貧富など)について、その原因はなんなのかを考えさせる教材が良いと思う。藤沢市では前回の採択の時に現場の教員の評価の低かった教科書が採択されたと聞きました。今回の採択では、ぜひ現場の先生方の意見、評価を尊重してください。東京書籍の公民教科書は、平和憲法の意義と、被爆国としての役割を書いて、平和条例のある藤沢市にふさわしいと思います。			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
71	公民の教科書は育鵬社と自由社は選ばないでください。大日本帝国憲法を肯定し、日本国憲法を大日本帝国憲法と同じように扱っているところは子どもたちを混乱させます。とりわけ、日本国憲法で「国民主権」を学ぶなかで、天皇の記述が多く、天皇を尊重することが国民主権であるかのように子どもたちに誤解を与えます。大日本帝国憲法と日本国憲法を対比して教えるのが通説だと思います。「平和主義」のところで、平和より自衛隊の活躍の記述が多いので、子どもたちは平和＝自衛隊に解釈してしまいそうで心配です。日本国憲法の3原則をしっかりと学び、戦争や軍隊のない平和な社会を願う子どもたちに育ってほしいと思います。			○
72	国民の主権について丁寧に説明がなく、天皇についての記述が多い。育鵬社			○
73	育鵬社などで一方的な立場に立っての意見や曲げられた歴史観が見受けられ、これからの子どもたちの使うべき教科書にふさわしいとは到底思えない。また憲法改正のページなどについても育鵬社の教科書は今の憲法を否定するところから始まるのはおかしいと思う。			○
74	育鵬社、自由社の教科書は採択しないでください。両社の教科書は主権者としての力を育てるものになっていません。国民主権について学ぶページの半分を象徴天皇制にあてています。ほかの教科書が主権者として政治に参加する方法を例示しているのに対照的です。改憲に誘導するような内容になっています。天皇の写真が多すぎます。宮中僱事を載せるのは違和感を感じます。政府の見解を一方的に押し付けるような内容になっています。日本の平和は自衛隊とアメリカ軍のおかげと思わせる内容になっています。社会科の学習では対立する両方の意見を紹介し、子どもたちに考えさせることが大切だと思います。広い見地に立って記述されている教科書を選んでください。帝国書院の自衛隊の記述などは公平な書き方をしていると感じました。			○
75	藤沢市に勤務していた、もと教師です。現在採用されている育鵬社の歴史と公民の教科書は現場の教師から使いにくいと評判が悪いようです。歴史の記述についてかなり「かたより」がある気がします。太平洋戦争についての記述は、アジア諸国の植民地支配からの解放を強調し、中国アジア諸国への侵略戦争だった部分の表現が少ない。戦争の負の面(悲惨さ、犠牲者の記述)が少ないと思います。これでは戦争を学習するのがかたよってしまいます。他社と比べても、かなりかたよっています。東書などは、学習の視点や多面にわたった資料がのっていて学習しやすいと思いました。時間が少なく、他教科は見られませんでした。	○		
76	「歴史」に関して育鵬社と帝国書院を比べてみた。育鵬社は近現代の戦争についての記述が恣意的な感じがした。時の政府の戦争政策を正当化している。従って植民地化とか、そのもとでの皇民化教育というところがないか、弱い。戦争下における国民の窮状も弱い。30分という制限の中でも感じたところ。また公民の憲法のところも非常におかしい。明治憲法を美化する一方、現憲法も問題があり、改憲すべきの方向へと導く展開。憲法は政府を規制するものというのが憲法学者の通説だが、国民が守るべき義務と展開している。国民主権のところは天皇の記述が圧倒的(写真も)。まるで明治憲法(天皇が統治者)をひきついでいくべきであるかのような印象。	○		
77	9年間にも渡って育鵬社の教科書を藤沢の子どもたちが使ってきたことに大変な危機感を覚えています。過去2回の採択でもこの教科書が選ばれた理由が不明りょうで、教育委員の方たちもしっかり精査した上での選択だったのかとも疑問です。現場の先生たちの評価も低かったはずでうちの子どもはその教科書を使って勉強しましたが書いてあることがわかりにくく理解しづらく、他の教科書、参考書を使って勉強していましたが、学校では教科書準拠のワークブックが配られ、それをテスト前に解いて提出しなければならず、それが提出物として内申評価の対象となったのも納得いきませんでした。他社の教科書と比較してみると、公民でも、歴史でも個人を尊重し、社会を形成する一市民として育てるという意識が希薄で、これからの先の見えない、何が正解なのかかわからない社会を生き抜いていく子どもたちに渡す教科書としてふさわしくないとします。今回はぜひ、しっかりと採択を行って下さい。個人的には、歴史も公民も教育出版がよいように思いました。		○	
78	藤沢の中学生に公民の教科書は、育鵬社と自由社はふさわしくありません。 ①藤沢市は1982年に「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」をしています。「広報ふじさわ」(2011.5.10.号)で「2020年までの核兵器廃絶を目指して、『平和の灯を受け継ぐ街』を特集し、「平和を求める意志を次の世代に伝えましょう」と訴えています。そして、子どもたちが広島や長崎で学び、すばらしい成果をあげています。この平和都市宣言は、すばらしいものです。このことから考えても、戦争を賛美し、日本国憲法を軽視する、今使われる育鵬社の教科書は藤沢市の中学生にふさわしくありません。 ②「戦後の日本の平和は、自衛隊の存在とともに、アメリカ軍の抑止力(攻撃を思いとどまらせる力)に負うところも大きいといえます」(P58)のように、子どもたちに平和を維持していくのに軍事は軍事で対応していくことが平和につながるかのような考え方を強調しています。戦争をなくすには、軍隊を持たないという憲法9条の精神の考え方が、できなくなります。			
79	”海老根市長が採択した”と言われ続ける育鵬社教科書を、“鈴木市長が替えた”と是非教科書問題に終止符を打って頂きたいです。今年2月、かながわ県民プラザで行われた”日中戦争の写真展”に行きました。目をそむけたくなるような事実を目にし、また決して目をそむけてはいけない事実を無知だった私は知りました。価値観を押し付けるような教科書ではなく、偏りのない事実を教える教科書に変えて頂きたいです。お得意様の神奈川県、はずかしいことです。			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
80	項目ごとに読みやすいものもあるが大きくて重そう。全てがカラフルになっていて資料集のようだった。育鵬社のものは他の教科書と歴史認識がちがうものがあったりして他の市町村がたくさん育鵬社以外のものを使っていたら藤沢市の子どもたちだけ違う意見になりそうでこわい。			○
81	歴史公の民という考え方が怖かった			○
82	育鵬社、自由社の公民は藤沢市の子どもたちに手渡したくありません。自由社は国民主権を学ぶところのテーマが「天皇の役割と国民主権」であり天皇との関連でしか国民主権を学びません。続くテーマ学習が「天皇のお仕事」2ページです。これでは公民の柱である主権者教育が全くできません。憲法3原則の一つである「平和主義」も安全保障の関係でしか学びません。困った教科書です。			○
83	育鵬社の教科書の日本国憲法や教育ちよく語など日本が本来どうあるべきかの説明には何らかの強い作為を感じます。(現政権の思想に通ずる国民の意に寄り添わず、経済優先の考え方など。)こんなゆがんだ事実ばかり列記する教科書で、もし子供たちが学んだならば日本の将来は暗いものとなるでしょう。国民ひとりひとりが考える力を身につけるには、これまでの日本の歩みに対する正しい理解が必要です。育鵬社の教科書を採用している藤沢市には不信感を抱きます。子どもたちの輝ける未来をふみにじらないでください。事実をありのまま、子どもたちに伝えて大人も一緒に考える国に！		○	
84	学習内容が多く学習するのが大変そうだと感じた。グローバルな視点をもって日本や諸外国と対話、交流を進めていけるような学習をしていけるとよいと思った。	○		
85	今、藤沢市はわざわざ男女差別を助長する教科書を使っています。市の恥です。育鵬社だけはやめて下さい。今回の内容も男女差別、平和＝中国、北朝鮮問題、公共の福祉の重要性を主張する教科書は受け入れるべきではありません。			○
86	私的には東京書籍が読みやすいと思いました。			
87	育鵬社公民の憲法改正への誘導が(相変わらず)激しく、また、日本国憲法<大日本国憲法の論調も偏りがありすぎて、このままこの教科書を藤沢市の中学生が使うと考えると不安でいっぱいです。			○
88	自由社 26P 親が子をいとおしいと思うのが前提の「家族」でしょうか。最近特に親の虐待。そうとも思えない。懲戒権の行使とでも。この教科書では教えられ、子は孤独感。育鵬社 49P あげてある外国の憲法は、国民の防衛義務ばかりではありませんか。			○
89	働き方改革や在宅勤務などの今日的課題にもふれていてよい。(東京書籍)(教育出版)。またコラムで生徒が意見交換やグループワークのヒントとなることを提示しており、授業の中で活用できそうなどところが多い。	○		
90	育鵬社の教科書について意見を述べます。今年は新型コロナウイルスが世界中に広がり、パンデミックを起しました。従って世界中の国々が協力して感染を押さえなければならないのです。戦争等している場合ではないのです。しかし、この教科書は戦争を賛美し、戦争による犠牲や被害、日本国民の負担等は書かれていません。日本国憲法は平和の尊さをうたい、恒久平和を理想としていますが、この教科書は「改正」しないといけなくように書かれています。世界中が共存共栄し、どんな疫病にも情報交換し、仲良く繁栄してゆきたいものです。とに角、教科書採択にて現場の先生方の声を最優先させてください。			○
91	私の孫が今年4月から中学一年になりました。しっかり勉強して家族や仲間を大事にするよい青年に育てて欲しいと思っています。その子供を成長させる為に教科書は先生にとっても子供にとっても一番大事であると思います。特に日本が戦後75年間この国とも紛争にまき込まれなく平和に暮らせていることは素晴らしいと思います。今日6月23日は、新聞やテレビで報道されていますが、沖縄県民が太平洋戦争の激戦のなかで20万人の人がなくなった日です。私も2才の頃、東京大空襲で逃げまどい大変な思いをしました。二度と戦争を起してはいけません。あの戦争を「正しかった」「アジア開放の斗いだ」などは絶対に間違っています。育鵬社の教科書は採用しないで下さい。			○
92	自由社の公民は選んでほしくありません。			○
93	国民主権について、丁寧な説明がない。天皇についての記述が多すぎる。基本的人権についてより、国民の義務が強調されすぎている。なので、育鵬社の教科書はよくない。			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
94	藤沢は「平和条例」を持つ市であり、かつて市教育委員会が「平和教育の手引き」という冊子を出し、子どもたちがこれからの平和のための活動の担い手として育つよう努力してきた市です。ところが、育鵬社の歴史・公民の教科書は、平和の担い手、主権者として必要なことをしっかり学べない教科書です。公民では男女の平等、福祉、働くものの権利についても必要なことが書かれていなかったり、子どもを迷わすような書き方がされていると思います。歴史ではあまりにも自国中心で、日本はすばらしい！という書き方が目立ち、よいことも悪いことも含めて、歴史を学び、これからの生き方に活かしていこう、という姿勢ではありません。育鵬社の歴史・公民の教科書は採択しないでください。他の会社では帝国書院の基本的な人権のところは、やまゆり事件後の私たちに強く迫るメッセージを感じました。教育出版、帝国書院は全般的に子どもたちにわかりやすく、また、さまざまな課題を自分のこととして考えさせる工夫がされていると思います。			○
95	歴史は史実を伝え考えることに意義があると思います。解釈も偏ったものは思考力未発達の中学生に不向きだと思います。教員の方々が違和感なく使えるものにしてほしいと思います。			○
96	戦争で個人の命が赤紙一枚で国の権力で戦争のために軽んじられた。沢山の命があやまった政治で奪われてしまった。その反省のもとに、個人の尊重を憲法で保障しようと新しい憲法が作られた。しかし育鵬社は個人の幸福の追求の権利より(P1「公民」への成長)公民としての自覚をもつことが成長であると(国家の利益、関心を持った人が成長であると述べている。)中学生に個としての自覚、個々のすばらしさを発見することをさまたげる役割をしまっている。子どもが考えるより、押しつけが先行してよくない。憲法も9条もGHQに押し付けられていると一方的な見解だ。9条は日本人が提案したという見解や新憲法が戦争への反省から作られ日本の議会で承認されたことが育鵬社には記述がない。育鵬社は「自衛隊は日本の防衛には不可欠で国民から大きく期待されている」と一方的な見解。育鵬社は一方的な見解が強調されており、それに反対する意見が記述されておらず、子どもが比較して考えることができないので、教科書としては不資格。大日本帝国憲法と今の憲法の比較表もないので、どこがどう変わったかわからない。やはり中学校の子ども達が考えられる教科書を先生方が選ぶので先生の意向を尊重して採択して下さい。			○
97	公民。他の東京書籍では「天皇の政治についての権限をもたず憲法に定められた国事行為だけを行います」「法的・政治的な権限の行使にならない範囲で」と天皇の役割がきびしく制限されているのに対し、育鵬社は「国事行為を行ない」とだけを抜いている。「数多くの職務にたずさわって日本国を代表し伝統的な姿を体現したり国民の統合を強めたりする存在となっている」等戦前天皇制への反省の上に憲法で制限したことを伝えていない。むしろ天皇の役割を広げたいという意図が見えて、子ども達を誘導しているのでよくない。育鵬社は天皇の写真が多く、国民主権への意義や説明が貧弱。			○
98	育鵬社の教科書を使うことは絶対反対です。来年中学生になる子がありますが、育鵬社の教科書が使われるなら私立中学に入れようか真剣に悩むほどです。問題点は多すぎますが、例えば「弁護士からみた育鵬社の公民教科書の問題2020」(自由法曹団)に整理された問題点を必ず参照してください。(インターネットで見られます)。大日本帝国憲法について不正確な記載をし、立憲主義についての記載を妨げたり、「押しつけ憲法論」を正当化するような書き方があるなか、教育に現政権のような政治思想が入りすぎです。このような教科書で学ばされる藤沢の子ども達がかわいそうです。どうぞ良識あるご判断をお願いします。		○	
99	私事ですが、50年の弁護士業務のなかで、1/4位は子どもの権利にかかわって来ました。きっかけは、下瀬谷中、津久井の中野洋君の自殺事件です。市の子どもの権利条約を受けた委員会委員も2期やらせていただきました。東京、教育は同条約に簡単ながらふれていますが、他には見られない。成長期であり多感な中学生に何故同条約につき、きちんと説明しないのでしょうか。生徒は自分のことから教えられ、他人のことがわかるのではないですか。体罰、いじめ、いじめや先生による差別を原因とする不登校など、多く関係します。育鵬社については、普段大変疑問に思っています。70P世界の人権問題では、黒人へのこれまでの差別についてかかれています。何度もテレビでうつし出されたトランプの黒人デモ対し、警官による殺人、抗議デモ隊に軍を出動させるとの発言は、中学生に議論させるにいいテーマと思いますが、育鵬社版ではそれは許されるのでしょうか。疑問です。添付した資料のように中学生は教える力を養う時期です。			○
100	憲法が一番気になっています。特に平和、人権です。帝国書院と育鵬社を比べたら、全くちがいがおどろきました。帝国書院は憲法を守るのは時の政治家、私たち国民はそれを「かんし」と書いてありますが、育鵬社は「国民が守る」と強調されていました。			○
101	憲法のこれから(P72～73)日本国憲法の3大原則を深堀りすることなく問題点(国会でも論議されていないよう)を書き出させるのは意図的かどうかと思いました。藤沢市では、中学校の歴史と公民の教科書に育鵬社を使っていて、先生方から使いづらいという声があがっています。先生方の現場の声を反映した教科書採択をお願いします。			○
102	育鵬社の教科書は、歴史的事実、政治的背景など”きびしい”などの言葉を多く使い中立的な立場をとっていない記述が多いように感じられる。学習指導要領にも入っていない人物を多くとらえ子どもたちに思想の支配のようにねらっているように思う。教育は、中立的な考えで、子どもたちが判断していくもので考えを深めていくべきだと考えます。国の歴史や政治の考えを肯定的に書きすぎだと思えます。子どもたちも自然と読み正しいと思う教科書です。育鵬社の教科書は、使わないでほしいと思います。			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
103	<p>公民の教科書は、二期続けて育鵬社の教科書が採択されています。現場の先生方の意見が全く反映されない形での採択はおかしいと思います。私は小学校教諭ですが、中学校の先生たちからこの8年間工夫をこらして子どもたちに教えてきたということと聞きました。今回私も見させて頂きました。現場の先生方が思っているのと同じように、私も育鵬社の教科書は、これからの子どもたちにとってふさわしくないと思います。</p> <p>大きな理由として、日本国憲法の理念と問題視し、押しつけられた憲法であり、改正が必要だという論調で書かれていることです。</p> <p>自衛隊は解釈の中で維持されてきた組織のはずなのに役割が拡大する中で、その存在を明記し位置づけるために憲法を変えなければいけない。他の国との比較の中で、他の国はもっと変えているし、日本も変えてもいいか、と思わせるように書かれています。</p> <p>憲法を変えるためには、多くの国民の願い、切実な思いがあつてこそだと思います。私は、それはないと思っています。一部の考えが大きく反映されている育鵬社の教科書は、子どもたちが使う教科書としてふさわしくありません。教育委員の皆様をお願いします。どうか現場の声を聞き、子どもたちのために、公正公平な判断をお願いします。</p>	○		
104	<p>人権・民主主義・平和をていねいに扱っているものをえらんでください。</p>			○
105	<p><公民>育鵬社版では、憲法の上に国家がきています。これは逆転しています。日本国憲法はGHQにおしつけられた、だから改正すべき、との主張が気になります。改正の手続きがぐわしくのっていて、「憲法改正」を主張しているようです。このように導くことは問題です。</p> <p>*現場の先生方が「内容的に問題がありとても使いにくい」と指摘されている育鵬社を採択しつづけることは問題です。現場の意向をしっかりうけとめた採択がなされるべきです。</p>			
106	<p>1.国民主権・権利・民主主義をきちんとあつかう教科書であってほしい。育鵬社は国民が主権者という観点がきわめて弱い。また、権利ではなく、その制限が大きくあつかわれていて藤沢の子どもたちにふさわしくない。</p> <p>2.育鵬社では日本国憲法をきちんと学ぶことができない。</p>	○		
107	<p>藤沢市は、以前、公民で育鵬社を選びました。まだ今回も問題を感じた。中学生には、事実をしっかり学習して、これからの日本をになってもらいたい。育鵬社や自由社の教科書は使わないようにしてほしい。偏りがあります。</p>	○		
108	<p>現場の先生が使いにくいと言っている教科書が採択されたことは疑問です。特に歴史はきちんと学んでほしいのに、今の政権の代弁者ようになってびっくりしました。また、公民では、国民主権を学ぶページの半分を象徴天皇制度にあてているのもおどろきです。</p>		○	
109	<p>公民の「育鵬社」では、安倍首相の写真がたくさんあり、驚きました。国会議員も多すぎる。P48～49の「平和主義」では自衛隊のあつかいが2/3を占めているのはいかがなものか。「皇室」の写真も多すぎます。特定の事柄に重きをおいている感じで、生徒にはふさわしくありません。</p>			○
110	<p>育鵬社の公民の教科書では、「平和主義」について自衛隊の国際貢献が強調されている。日本の平和は、自衛隊とアメリカ軍の抑止力にあるというのは、違和感をおぼえます。戦争の反省から、平和主義が生まれたことを記述してほしいです。また、「基本的人権」を政治目標のようにかかげ、権利というより、権利の制限や義務を強調しているように感じます。日本国憲法の制定に関しても、GHQの押し付けという部分を全面に出し、民間の私案や国会で十分に論議した経緯にも触れてほしかったです。</p>			○
111	<p>教育出版(公民)の原発記述も重要だ。</p>			○
112	<p>公民でも、国民主権をもっと広く、人権尊重、差別、社会の労働問題等にふれてほしいが、育鵬社は象徴天皇制度に多くのページを使っている。より広く真実を伝え、それをもとに考えを深めていける教科書であってほしい。育鵬社を採用しないでください。</p>			○
113	<p>育鵬社の「国民主権と天皇」(p42～43)は、天皇という言葉や写真がたくさん出ており、日本国憲法の三大原則の1つである「国民主権」を学ぶにはふさわしくない。東京書籍の「平和主義と日本の役割」(p46)のところに旭日旗と安倍首相の写真が載せられているが、載せるべきものか。</p>			○
114	<p>歴史・公民の教科書は、人権について深く考えられる教科書をえらんで下さい。</p>			○

番号	【社会(公民的分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
115	育鵬社は、大日本帝国憲法が「高く評価された」と問題点が書かれていない。他社では、大日本帝国憲法のもとで人権侵害を招いたことや、民主主義や権力分立が不十分だったという問題点も述べられている。やはり、育鵬社は歴史への反省が見られない。人権感覚が薄いのではないだろうか。帝国書院は、個人の尊重についてとても詳しく、憲法上の権利保障の出発点となる規範であると中学生にわかりやすく説明している(6ページも)。「そのために、基本的人権が保障されていると、国家が介入してはならないと、個人の自由に関わる領域を確保すると」そこで、いろんな自由権があると、表にしてとてもわかりやすくて良い。育鵬社は、基本的人権の保障については数行しか説明がなく、そのあとすぐに公共の福祉による制限と国民の義務が長々と書かれていて、「国の維持発展のために重要な義務」と述べている。個人の尊重の大切さが何も伝わってこない。在日外国人、差別について、帝国書院では、なぜ朝鮮の人たちが日本にいるのか歴史にもとづいて書いているが、育鵬社では、歴史の真実を述べていない。人権感覚をしっかり持ち、主権者として子ども達が育ってほしい。力を合わせて社会をみんなの人権が守られるようにして欲しい。教科書は人類の反省をもとに、人類の学んだ成果を子ども達に伝えるよう大事な役割をしていると思いました。現場の先生は子ども達の成長を願って、真剣に教科書を選んでいきます。現場の先生の意向を第一に採択してください。			○
116	(育鵬社の教科書)公民。国民主権のところは天皇の記述が多すぎる。憲法は国民をしるものではないはずですが・・・(基本的人権の尊重のところも)			○
117	育鵬社。なぜ「公民」を学ぶのか。東京書籍。持続可能な社会の実現に向けて、これからの社会を考える。帝国書院。学習のはじめに。公民の教科書は、育鵬社の本は？中学生としては？もっと単純で良いと思いますので・・・。東京か帝国の本が良いと！！			○
118	育鵬社のテキストは、憲法の三大原理である基本的人権、主権在民、平和主義に徹した在り方と相違して、国民に関する権能を有せず(憲法・・・条)それ以外は、象徴的・・・厳禁されているにも拘らず、天皇の私的行為の在り方を、いかにも天皇の本質と考える君主主権的な考えで記述されていることは、偏向であって、藤沢市において、もっと公正な他の教科書にかえるべきである。			○
119	〈公民〉平和都市宣言や長崎を通じた核兵器をなくすことを考える私たち藤沢市民にとってこの教科書の内容で教えてほしくないで、ぜひかえて欲しい。憲法の本質にたった帝国書院や教育出版などから選んで欲しいと思います。			○
120	育鵬社の歴史教科書には戦争を実態とちがった表現をしているので採択しないで下さい。現場の先生方の声を聞いて下さい。			○

番号	【地図】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	今日は「地図」についてのみ見ました。手袋があるため、ページのめくりがうまくいかない。2社ですので、特定の地域を比較してみました。全体的には帝国書院の方が見やすいと思いました。地名の読み取り等は、帝国の方が探しやすい感じがします。			○
2	地図だけでなく、それぞれの国の特徴が大きくクローズアップされており、イメージがしやすかった。			○
3	学習内容が多く、学習をするのが大変そうだと感じた。グローバルな視点をもって日本や諸外国と対話、交流を進めていけるような学習をしていけるとよいと思った。	○		

番号	【数学】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	素直に教育出版のままでもよいと思った。東書は中1のスタートで、素因数分解を扱っているが、ここは累乗のあとのほうがいい。学校図書は素数の単元が重く、わかりづらい。補助教材のときも不評だったのでは？			○
2	<教育出版> <1年>P121～123「大学対抗駅伝」の内容は、非常にむずかしい。また、内容が3ページにわたっている ので、数学の苦手な生徒、読解力の弱い生徒、また特別支援の必要な生徒にとっては、学習負担が大きい。 また、全体的な情報量が多く、ページ右の側注にある「数学的な考え方」は、生徒の主体的で自由な思考を 阻害する原因となり、不要。 <1年>P69第3章「文字と式」は、導入の写真が研究者のような白衣を着用しているが、その後の本文の内 容と関連していないので、意味不明である。 <1年>P202数学の広場「三角形の外心と内心」は内容が高校レベルのもので、本文扱いは適当ではな い。また、その他に「重心」「垂心」「偏心」をインターネットで調べようと書いてあるが、数学のスローラーナーの 生徒には、理解できないので、よくないと思う。 ◎全体的に図版イラストが、ごちゃごちゃしており、読みにくいので、「数学嫌い」をますます増加させるように 思えてならない。		○	

番号	【理科】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	理科(啓林館)表紙がインパクトがあり、手に取ってみたが、小学校で理科を学んで来た子供達には、難しいと思える。(東京書籍)などがスムーズに入って行けるのではないか。			
2	(理科)どの教科書も甲乙つけがたいですが、教育出版が最も体系的に記述されていると感じました。		○	

令和3年度使用教科用図書意見書
藤沢市役所分庁舎会場

番号	【音楽(一般)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	偏りのある見解、感情的な表記は教科書としてふさわしくないと思います。あくまで客観的な事実を述べること様々な角度からの見方があり、その中で生徒自らが話し合ったり考えられる内容であって欲しいし、そのような教科書が選ばれることを望みます。			○
2	希望や勇気・元気になれる曲目が選ばれているところがよいと思います。			○
3	君が代は必ず載せないといけないのでしょうか。			○
4	音楽は人生の中で生きてる間中、人を励ましてくれます。沢山たくさん歌わせてください。私はいま78歳。このコロナで落ち込んだ時も音楽がとっても励ましてくれました。あちこちで歌をたくさん歌わせてください。			○
5	音楽は各自楽しむもの。ぜひ見ても楽しくなるような、堅苦しいものではなく、明るく元気が出るようなものにしてほしい。孫が音を楽しむことを考えて、明るく口ずさむくらいにしてほしい。			○

番号	【音楽(器楽合奏)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	一般とは別に器楽の教科書があるとは知らなかった。ギターの演奏とか自分にもできそうなほど、わかりやすく時代にも合っていると思った。			○

番号	【美術】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	日本文教出版のものは、デザインとして表紙が美しくよいと思うが、内容は光村図書のものが最も優れていると感じた。			○
2	光村図書の表紙の絵がとても哲学的でよいと思います。			○

番号	【保健体育】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	いま、重要な感染症について関心があり見てみたところ、学研の教科書が写真もあり、これからの感染症で差別なども生まれるという、色々な視点を考えるようになっていて、生徒たちに考える投げかけができると思いました。まさにコロナで問題になっていることなので、適していると思います。他の本も書いてはあるが、印象が薄く感じた。			○
2	学研、データとともによく整理されている。			○
3	60年前にもあったのか？と思いました。			○
4	各者とも「心身の発達」のところ、LGBTQの人(子たち)への配慮が欠けているように思います。副教材で充分補って頂けたらと思いますが、本来なら、同じページであつかってほしかったです。		○	
5	教科書全般についてですが中学生にしては「性について」の学びをきちんと教えてほしい。全体的に扱いが小さいと感じました。今やネットに情報があふれる中、正しい知識と、男性女性の身体について互いに学び、LGBTQについてもふれられるとよいと思います。			○
6	異性への関心や「相手にふれてみたい」性衝動などの記載についての他に性の多様性についても説明があり、多様性への配慮が感じられた。しかし…とても短くかんたんすぎないか。性同一性障がいについてもあるべき。(東京書籍)。性への関心と行動。図やグラフなどわかりやすいが、同上(大修館)(大日本図書)	○		

番号	【技術・家庭(家庭分野)】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	偏りのある見解、感情的な表記は教科書としてふさわしくないと考えます。あくまで客観的な事実を述べること様々な角度からの見方があり、その中で生徒自らが話し合ったり考えられる内容であって欲しいし、そのような教科書が選ばれることを望みます。			○
2	教育図書写真や図の配分がよい。見やすい。			○
3	1日にバランスよく食べるとよい量が実物大で大きく写真に載っており、とてもわかりやすかった。健康を守る大切な食事の摂り方、作り方、子どものころにしっかり身につけておける教科書にしていきたい。			○

番号	【英語】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	英語のバーコードについて興味があり、各社見てみました。教科書から音声再生され、CDがなくても学習できるのは素晴らしいと思います。会社によって内容や掲載方法(位置)が異なっていると感じました。ページ単位で呼び出せた方が使いやすそう。音声だけでなく動画もあり、面白く見ました。コロナの影響で家庭での学習の大きな助けになると思います。			
2	英語の内容は、よく分からないが、東書のホライズンは、さすがに紙のサイズが大きすぎないだろうか、机の上だとノートなどもあり、扱い辛い気がした。			○
3	<p><三省堂>3年 P122「present for you」は女性か自分の髪の毛を切ってお金に換えるというstoryであるが、「自分の身体の一部を切って」売るという行為は中3の生徒(特に女子)には、道徳的な立場からも良くない影響があると思われる。「美談」と思われがちであるが、「教科書」としてはふさわしくない。</p> <p><東京書籍>3年 A4判で読みやすい。「SDGs」の大きなテーマを掲げ、これからの英語教育の目標として、グローバル社会の中で生きていく人間として、活用できる。内容も従来の「Classroom English」を越えて深い内容のものが多 い。3年生P81Let's Write「グラフや表の活用」の単元は、これからの高校入試、大学入試にもよく出される 問題で、とても良い教材である。3年生P87WordRoom②「日本の行事・風物」は、外国人との対話で、是非 活用したい教材である。3年P110「A Graduation Gift～」は、少しレベルが高いが藤沢市の中学生にとっ て、将来、役に立つ教材と思える。</p> <p>・英語に関しては、今年4月から小学校5・6年生から教科書が使用されている。中学校も、従来の「オー ラルコミュニケーション」や「Classroom English」の内容だけでは世界的な英語のレベルまで達することがで きないように見える。 「QRコード」や「デジタル教科書」も活用して、StayHomeでも、自分で学習がしやすい教科書を選定するこ とが、今回の採決では、一番大切なファクターだと考えている。</p>		○	
4	<p>☆冒頭に、授業開きでそのまま使えるシチュエーション会話がある。</p> <p>☆表現作文のためのヒントやインタビュー覧がある。</p> <p>☆まとまりのある英文が散文していないよみやすいレイアウト→NEW HORIZON(少し大きいけど、、、だ いたいA4ファイルにはさみこむのでOK)</p>	○		
5	イラストに世界の様々な人たちが載っていてよいと思いました。英語を話す人=欧米人、ではないし、欧米出身の人々も多様なので。		○	
6	SANSEIDO NEW CROWN読み書き聞くの項目がはっきりしていてわかりやすい。			○
7	NEW CROWNは少し書き方がゴチャゴチャしていて読みづらいです。NEW HORIZONの方が読みやす いと感じました。		○	
8	大幅な改定だったので、驚きを持って拝見した。現在よりも内容がかなり前倒しになっていたが、これくらい 内容が濃いほうがいいのではないかと思う。あとは、各学校の授業において、どれくらい分かりやすく生徒に 伝えられるか次第だと思う。	○		
9	英語は日本人にとって苦手な教科。もっとやさしいものを。アメリカのセサミストリートテレビ番組のように子 どもが初めて英語に触れることを考えてみよう。英語はとても興味のある教科であるが、大人向けといってい いくらい小中学生にとっても難しいのでは？			○
10	SDGsの意識化に注力しているか。どこも付け焼刃で。東京書籍が「英語」(3年生)の表紙ウラにカラーで大 きく出しているのは印象的で良い。本来なら、社会や理科で総合的に記述すべきでは？			○

番号	【道徳】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
1	この教科については、評価も含めて、いろいろと議論されるようですが、しっかり考え語り合ってください。人として何が大切か。お互い思いやる。もし、そこにお年寄りが転んで倒れていたらどうするか。①声かけ(教育では「ことばかけ」というそうですが)して、必要なら助けを呼ぶか。②認識しても知らんぷりして通り過ぎるか。最近では、老若男女問わず、②の人が増えているのが非常に気になります。民度の高さは、簡単に向上、維持できるものではありません。			○
2	道徳が教科となったこと自体、まだ賛成はできませんが、どうしてもやらなければいけないなら、これまで通り光村図書を使ってほしいです。最初の詩がすごくいいと思います。そして、荷物が重く大変なので、分厚い教科書は選ばないで下さい。日本教科書の單元ごとの最後に「考え、話し合ってみよう・・・」は、誘導になると思います。子どもが自由に考え、発言できる、教科書、授業を望みます。		○	
3	いじめについて考えるページがあった。私のころは道徳の時間とは名ばかりで、クラスの皆でサッカー、ドッジボールなどして道徳のテキストを読んだ覚えがない。つまり授業はないも同然だった。「いじめ」については自殺者はいなかったとだけしか言えない。自分は中学の時、肩を殴られたりラジオ体操で笑われたり、「おい、お前だよお前」と某生徒に言われながら絡まれたことがあった。逆に部活で嫌いな部員に無言電話とかカメラ盗撮したことがあった。(私がやった) 今回の道徳のテキストを当時の某生徒や私が読んでいたら、抑止になったのかな？			○
4	日本教科書最後のページの4段階に自己評価をさせるページは、心の評価を数値化させるやり方です。やめてください。採択しないでください。別冊のある日本文教、あかつきなど、心の中を書かなければならないプレッシャーがあります。書けない子もいます。別冊ではなく、先生方が創意工夫できるように、別冊のない道徳教科書にしてください。光村は、今使われていて、教育的審議を経て決まったものです。尊重してください。			○
5	偏りのある見解、感情的な表記は教科書としてふさわしくないと思います。あくまで客観的な事実を述べること様々な角度からの見かたがあり、その中で生徒自らが話し合ったり考えられる内容であって欲しいし、そのような教科書が選ばれることを望みます。			○
6	道徳では自己評価は必要ないのではないかと。成績表を意識して正しさを求められると本来の目的とずれてしまうと思います。			○
7	ひとつの考え方を押し付けるのではなく、子どもたちの発達の保障こそ優先して学べるようにと。			○
8	生徒本人が、自身を評価させる教科書が多いのが気になる。道徳は評価するものではない。自身の考えは誰からも強要されることなく、自由にもっていいもの。考えをもち、意見を伝え、話し合うことは重要。それをくりかえしていくことで、互いを認め合う気持ちがあがってくる。それが道徳。それを、生徒が評価し、先生が評価するのはおかしいと思う。		○	
9	「こう答えれば正確」と子どもに思わせるのではなく、考えることを主体に、時には答えは複数あっても考え続けることを身に付けられるような授業にしてほしい。教科書にしなくても良い部分もあるように思います。			○
10	学校の現場で教えられている先生方が望んでいる教科書が選ばれていないとき、とても残念に思っています。ぜひ、先生方が一番良いと思われる教科書で子ども達が学べたらと切に願います。			○
11	子どもたちのこたえを誘導するような内容になっているのではないかと心配します。		○	
12	文部省は道徳について、価値観の押し付けはダメといっている。現在藤沢で扱っている光村図書は良いと思う。			○
13	道徳・・・そもそも「教科」として教えるのがおかしいと思いますが、世界が多様化する中、「家族」とか「愛」とかを強調しているものは使いにくいのでは。またやたら「美しい日本」というのもあやしいと思います。			○
14	道徳については人それぞれ考えを評価するのは難しいですし、それぞれの考えを尊重してほしいです。中学生が授業を受けてどう感じるか、本当に疑問です。(現中学生にアンケートを取れば明らかだと思います) 国が決めたことですからここに書いてもしかたありませんが。			○

番号	【道徳】教科用図書見本本の内容や特徴に関すること	教育関係	保護者	一般
15	日本教科書の2年生、P84「割れた理論」はお互いの連帯を説くより、犯罪とりしまりを言っている。道徳の時間としては心の解放が大切で、このような子どもを委縮させるような内容はふさわしくないと思います。一昨年、中学校道徳採択の際、審議委員会並びに教育委員会での教育的な議論を通じて採択された光村図書を尊重して継続されることを望みます。先生方も光村を願っていて、それが採択され、その決め方こそ正常な決め方だと心から安心しました。2020年の採択もそうあってほしいです。別冊があるような道徳教科書は先生方の創意工夫を妨げ、子どもたちにも書くことを強いて、心の誘導につながりかねないので、やめてください。			○
16	道徳の教科書はもうすこしすすべきでは！ 斉藤喜博氏は文学作品を使って考えさせることができると言っています。外側からのおしつけではなく、思考を育てることが目的ではないでしょうか。			○
17	光村が一番好感が持てた。自ら考えて自ら発言していこうということをととても大事に扱っている。黙っていればそれでも過ぎていくけれど、生きている自分が自分の言葉で語る→まちがっていてもいい ここが出発。そしてみんなで語ることにより考え、視野が広がるということが感じられる。感性の豊かなこの時期の子どもたちにとって大事なことだと思う。			○
18	道徳の教科書の巻末に、自己評価を記入する欄が付いているのが気になります。また権利より義務、礼儀を強調しているのも息苦しさを感ずります。		○	
19	道徳の教科書は今使っている光村図書が良いと思います。「なんだろうなんだろう」シリーズをはじめとして子どもたちに考えさせる結論を押しつけない教材が多いと思います。ただ巻末の自己評価を毎回書かせるのはよくないです。他社では日本教科書はやめていただきたいです。学習指導要領の4領域通りに教材を並べていくなど子ども目線での工夫がなく、2年生の「14歳の責任」のように”オドシ”としてしか思えない教材や「雨の日のレストラン」など過労死のススメのような教材や、3年生の「ライフロール」のように母親だけが家庭責任を担うような教材は子どもたちが考え、議論するものとしてふさわしくありません。			○
20	教科書が重いので、教科書がなくても良いのでは…。			○
21	道徳は、光村図書がよいと思います。特に「なんだろう、なんだろう」は1つのことに様々な面があり、簡単には結論が出ないようなことがある、しかし、それでも自分で考えることが大事だということがわかり、子どもにとってとても大切なことを学べる教材だと思います。			○
22	学校で道徳を教えることに反対します。			○
23	(光村)「さかなクン」道徳くさくなく、とても心に染みる文章、ヨシタケシンスケさんもいいと思います。“学びの記録”1時間ごとに書かせるのはどうでしょう。教師に“そんたく”して書く訓練にしなければいいのですが。思春期・受験期の3年生の子はなかなか思ったままは書きにくいのではないかと。			○
24	道徳「生き方から学ぶ」(日本教科書)中1、169Pに(公財)モラルロジー研究所出典の文章があって大変驚きました。右翼的な宗教のような教義の団体です。日本教科書の教科書を子どもに読ませることは不適切ですので採用しないでください。道徳「生き方から学ぶ」(日本教科書)中2、8Pは、少年法についての記載が面的で、少年法の理念を正しく伝えていません。なぜ子どもには少年法が適用されるのか考えさせることなく、あたかも軽い刑で済んでしまうのはずい、かのように子どもに感じさせるような有害な記述です。同じ教科書P138「日本にオリンピックを呼んだ男」は、東京五輪(1964)を招致した男性の熱意を記していますがオリンピックは巨大な利権イベントとなっており、五輪の光の面のみ強調して教えることは不適切です。同じ教科書P142「ウズベキスタンの桜」(P142)は、「日本人スゴイ言説」を強化するものです。「日本人だからすごい、偉い」といった民族性の強調は、個を重視する教育とは相容れません。		○	
25	道徳は、正解を導かないでほしい。考える事、思う事、自由でいい事、そのまま良い事を教えてくれる教科書を選んでほしい。		○	
26	人を大切にする教科書をえらんで下さい。			○
27	道徳について。全教科書にわたってページ数が多いので、一番ページ数の少ない「光村図書」がいいと思います。			○